

Annual Report of

YAMANASHI INDUSTRIAL TECHNOLOGY CENTER



山梨県産業技術センター 年報

令和6年度

2025

山梨県産業技術センター



は じ め に

“トントンカシャカシャ トントンカシャカシャ” 織物の街・富士吉田で開催されるハタオリマチフェスティバルの公式Movie、「ハタオリマチノキオク」は、心地よい機織りのリズムで始まります。その軽快な音色とその後に続く澄んだ優しい歌声は、市内の素朴な街並みや人々の暮らしを映し出す映像と見事にマッチして、初めて視聴した時は感動のあまり涙しました。千年以上昔から地元の小さな資本・労働力によって時代を紡ぎながら、地場産業として今に脈々と生き続けるこの地のものづくり産業の息づかいが曲のリズムと重なり、私の心を揺り動かしたものと思っています。

このように、地場産業はその地域の自然やコミュニティと深く結びつき、地域の伝統と文化になり、地場産品そのものが地域の魅力となって人を惹きつけます。

ただ、時代の変化とともに、人々の関心や意識も変化していくので、地場産業も伝統や文化だけに頼るのではなく、その時代に適した修正を加えながら進化・発展していく必要があります。それを機織りに例えると、「縦糸」は地域や自然、歴史などの不変的な基盤であり、「横糸」は変化を生み出す人々の趣向や生活スタイルといったものでしょう。加えて、織りなす布が未来を形づくる付加価値の高いものとなるためには、縦糸の本質を見極めながら横糸で新たな価値をちゃんと折り込むことができる「第三の糸」となる「意図」が必要になります。

私たち産業技術センターの使命は、正に、ジュエリー、織物、日本酒・ワインなどの本県の地場産業や水素・燃料電池、医療機器、更には、宇宙・航空・防衛分野などの成長産業における第三の糸となり、本県のものづくり産業に新たな価値を付加し、より一層魅力あるものにしていくことにほかありません。変えられない、いやむしろ、変えてはいけない縦糸を十分に生かしながら、横糸による変化をどう作り出すのかを研究・開発し、県内企業、地域の皆様とともに製品に織り込んでいくことに尽きます。

今年は、明治38年12月に南都留郡谷村（現都留市）に、当センターの前身である山梨県工業試験場が設置されてから、ちょうど120年となる節目の年となります。奇しくも、本年5月には、富士技術支援センターに新たにイノベーション支援棟を開設し、甲府技術支援センターと連携を強化する中で、県内全域におけるものづくり産業の更なる活性化を図る取り組みを始めたところです。今後とも、当センターが地域の産業振興の核となり、本県のものづくり産業の歴史と伝統が育んだ技能と高い技術力をより一層発展させ、企業、地域の皆様とともに多くの人に感動を与えられる魅力あるものづくりを進めて参りたいと考えております。

本年報は、令和6年度の当センターの業務成果をまとめたものです。一人でも多くの方にご高覧いただき、センターへのご理解をより一層深め、更なる活用にお役立ていただければ幸いです。

令和7年7月吉日

山梨県産業技術センター

所長 雨宮 俊彦

目 次

山梨県産業技術センターの概要.....	1
1. 沿革.....	1
2. 土地・建物.....	2
3. 組織と業務（令和7年3月31日現在）.....	3
4. 職員名簿（令和7年3月31日現在）.....	4
5. 職員配置（令和7年3月31日現在）.....	5
6. 令和6年度決算.....	6
7. 新設機器・設備.....	7
8. 山梨県産業技術センター 第2期中期運営計画.....	8
9. 令和6年度業務体系.....	10
10. 令和6年度業務実績一覧表.....	13
運営.....	14
1. 運営会議.....	14
(1) 会議の概要.....	14
(2) 構成員（委員）名簿.....	14
2. 試験・研究課題等の外部評価会議.....	15
(1) 評価に対する考え方.....	15
(2) 評価対象課題.....	15
(3) 評価結果.....	16
(4) 委員名簿.....	16
3. 業界との意見交換.....	17
技術支援業務.....	18
1. 技術相談、現地技術支援の担当別実績.....	18
2. 中小企業重点支援事業.....	18
(1) テーマ一覧.....	18
(2) 担当別実績.....	18
3. 客員研究員による支援.....	19
4. 依頼試験・設備利用等.....	20
(1) 実績一覧.....	20
(2) 依頼試験の内訳.....	20
(3) 依頼加工等の内訳.....	20
(4) 設備使用の内訳.....	20
(5) 試験成績証明書交付の内訳.....	20
(6) その他（酒母）.....	21

(7) 設備利用研修会	21
(8) 設備利用研修	21
5. 研究会への支援	22
6. やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業	23
新時代の担い手ネットワーク構築事業	23
研究開発業務	24
1. 産学官連携研究の促進	24
(1) 研究の形態	24
(2) 研究テーマ	24
2. 産業財産権の取得状況	30
(1) 産業財産権（県単独）	30
(2) 産業財産権（共同出願）	31
(3) 産業財産権（海外特許）	32
(4) 産業財産権出願中（県単独）	33
(5) 産業財産権出願中（共同出願）	33
(6) 産業財産権出願中（海外特許）	33
3. 課題対応受託研究	34
4. 業績発表	34
(1) 口頭発表（学会等）	34
(2) 口頭発表（その他）	37
(3) ポスター発表（学会等）	38
(4) 学会誌等掲載	39
(5) 専門誌等掲載	40
人材育成業務	41
1. 出前技術講座	41
(1) 講座一覧	41
(2) 担当別実績	43
2. ものづくり人材育成研修	43
(1) 通年	43
(2) 担当別実績	44
3. 県産ワイン・日本酒品質強化支援事業	44
4. 講習会・研修会	44
(1) 講座一覧	44
(2) 担当別実績	48
5. 技術者研修	48
(1) テーマ一覧	48
(2) 担当別実績	48

6. その他	49
情報提供業務.....	50
1. 研究成果発表	50
2. 刊行物の発行	50
3. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行.....	51
4. その他	51
技術交流	52
1. 研究機関連絡会議	52
2. 学会等の会議	54
3. 職員派遣	55
4. その他会議	59
報道関係	62
1. テレビ等	62
2. 新聞・情報誌等	62
職員の資質向上.....	63
1. 派遣研修	63
2. その他研修	65
学会・協会等からの表彰.....	66
加入学会・協会等.....	69
付録	70
1. 組織と業務（令和7年4月1日現在）	70
2. 職員名簿（令和7年4月1日現在）	71
3. 職員配置（令和7年4月1日現在）	72
4. 令和7年度予算	73

山梨県産業技術センターの概要

1. 沿革

明治38年12月	山梨県工業試験場開設
大正12年 4月	山梨県工業試験場上野原分場開設
昭和 4年12月	山梨県醸造研究所開設
昭和10年 4月	山梨県工業試験場吉田分場開設
昭和14年11月	山梨県工業試験場吉田分場を本場とし、旧本場は谷村試験工場に変更
昭和25年12月	山梨県繊維工業試験場開設（条例改正による山梨県工業試験場の名称変更）
昭和26年 8月	山梨県立研磨工業指導所開設
昭和28年 5月	山梨県繊維工業試験場大月分場開設
昭和30年 7月	山梨県立メリヤス工業指導所開設
昭和42年 9月	山梨県機械金属工業指導所開設
昭和43年 4月	山梨県食品工業指導所開設（山梨県醸造研究所の整備による名称変更）
昭和43年 4月	山梨県繊維工業試験場上野原、大月分場廃止
昭和43年 4月	山梨県木工指導所開設
昭和46年 4月	山梨県繊維工業試験場新庁舎開設
昭和49年10月	ワインセンターを山梨県食品工業指導所に併設
昭和61年 4月	山梨県工業技術センター開設（工業関係研究機関再編整備による5所統合）
昭和61年 4月	山梨県富士工業技術センター開設 （工業関係研究機関再編整備による山梨県繊維工業試験場の名称変更）
平成 4年 4月	山梨県工業技術センター新庁舎開設
平成12年 4月	山梨県高度技術開発センター新庁舎開設
平成29年 4月	山梨県産業技術センター開設（両センターの統合）
平成30年 4月	富士技術支援センター研究開発支援棟開設
令和 4年 6月	甲府技術支援センターイノベーション支援棟開設

2. 土地・建物

[甲府技術支援センター]

所在地 山梨県甲府市大津町2094

敷地面積	16,893 m ²
建物延面積	14,388 m ²
研究管理棟（鉄骨鉄筋コンクリート造り6階建）	7,008 m ²
デザイン棟（鉄筋コンクリート造り2階建）	2,158 m ²
実験棟（鉄骨造り2階建）	3,189 m ²
イノベーション支援棟（鉄骨造り2階建）	1,750 m ²
付属施設	283 m ²

[ワイン技術部]

所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼2517

敷地面積	4,280 m ²
建物延面積	914 m ²
ワイン試験棟（鉄筋コンクリート平屋・地下1階）	868 m ²
付属施設	46 m ²

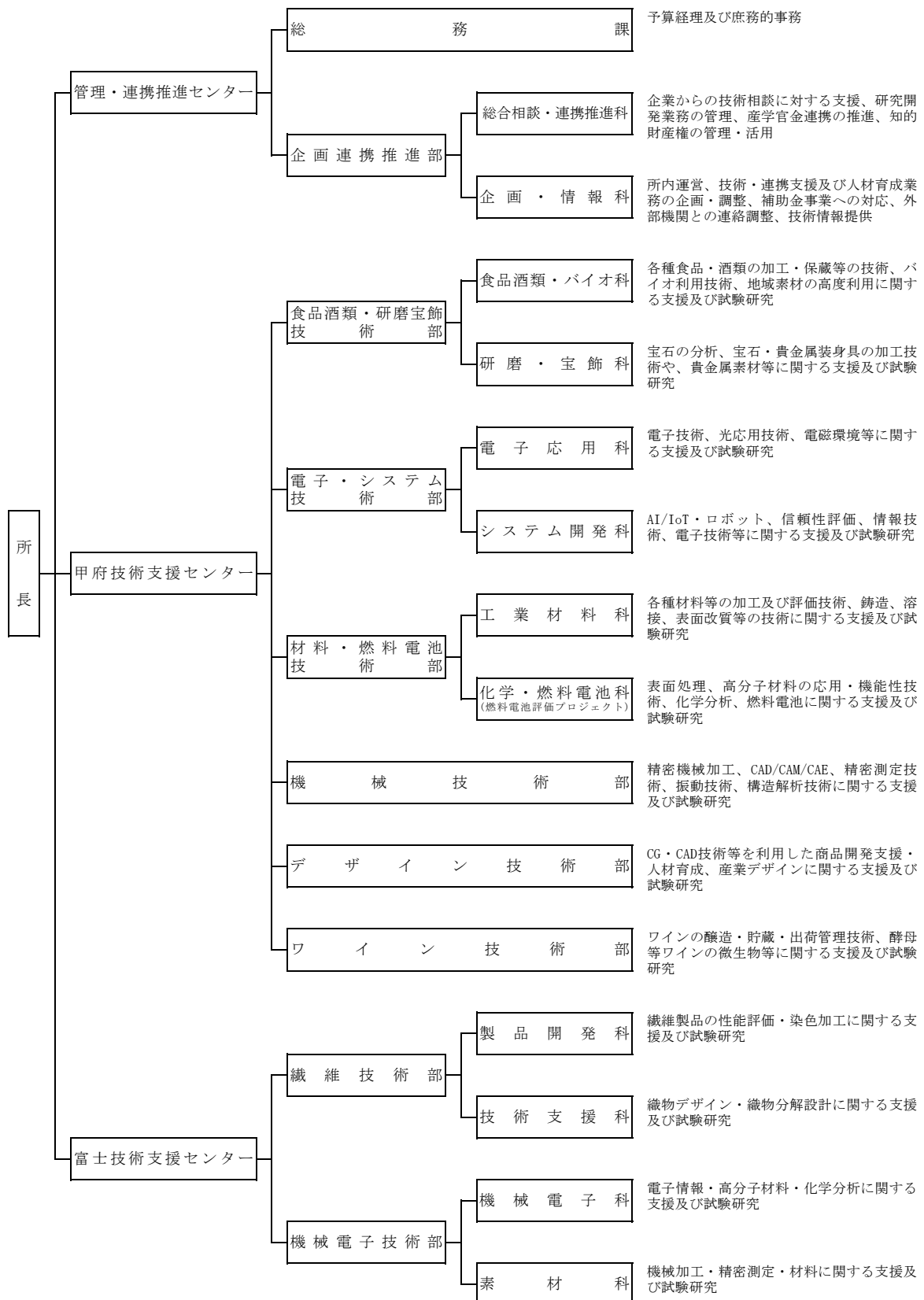
[富士技術支援センター]

所在地 山梨県富士吉田市下吉田6-16-2

敷地面積	10,117 m ²
建物延面積	3,583 m ²
管理棟（鉄筋コンクリート造り2階建）	1,177 m ²
試験棟（鉄骨造り平屋）	1,339 m ²
開放試験棟（鉄骨造り1階建）	222 m ²
研究開発支援棟（鉄骨造り平屋）	598 m ²
付属施設	247 m ²

3. 組織と業務

(令和7年3月31日現在)



4. 職員名簿

(令和7年3月31日現在)

所 長	雨 宮 俊 彦	電子・システム技術部	部 長	河 野 裕	デザイン技術部	部 長	宮 川 理 恵
管理・連携推進センター							
センター長(兼1)	花 形 俊 彦	[電子応用科]			主任研究員	串 田 賢 一	
研究管理幹(兼2)	中 村 聖 名	主任研究員	木 島 一 広		主任研究員	鈴 木 文 晃	
研究管理幹(富)	渡 辺 誠	専門員	萩 原 茂		研 究 員	佐 藤 博 紀	
研究管理幹	佐 野 正 明	研 究 員	中 村 卓		会計年度任用職員	数 野 真裕美	
特別職非常勤	大 丸 明 正	研 究 員	富 永 裕 輝		会計年度任用職員	岡 治 美	
		技 師	小 西 啓 史				
		会計年度任用職員	和 光 順 子				
総務課					ワイン技術部		
課長(事務取扱)	花 形 俊 彦				部 長	木 村 英 生	
副 主 査	杉 田 洋 輔	[システム開発科]					
主 任(兼2)	水 上 京 平	主任研究員	宮 本 博 永		主任研究員	小 松 正 和	
主 事(富)	渡 邊 大 河	主任研究員	布 施 嘉 裕		研 究 員	佐 藤 憲 亮	
主 事	田 中 智 唯	専門員	阿 部 正 人		会計年度任用職員	三 科 浩 仁	
会計年度任用職員	飯 田 恵 子	技 師	浅 川 拓 也		会計年度任用職員	窪 田 守	
会計年度任用職員	中 村 澄 香	技 師	保 坂 響				
会計年度任用職員(富)	大 月 恵 美						
		材料・燃料電池技術部			富士技術支援センター		
		主幹研究員・部長	山 田 博 之		センター長	高 尾 清 利	
企画連携推進部					副センター長	武 川 守	
主幹研究員・部長	恩 田 匠	[工業材料科]			研究管理幹(兼1)	渡 辺 誠	
		主幹研究員	阿 部 治				
[総合相談・連携推進科]		主任研究員	石 田 正 文		繊維技術部		
主任研究員	三 井 由 香 里	主任研究員	鈴 木 大 介		主幹研究員・部長	五十嵐 哲 也	
主任研究員(富)(兼1)	尾 形 正 岐	主任研究員	深 澤 郷 平				
研究員(兼1)	長 田 和 真				[製品開発科]		
		[化学・燃料電池科]			主幹研究員	望 月 威 夫	
[企画・情報科]		主任研究員	三 神 武 文		主任研究員(兼1)	尾 形 正 岐	
主任研究員	清 水 章 良	主任研究員	上 垣 良 信		主任研究員	金 丸 勝 彦	
主任研究員(富)	尾 形 正 岐	主任研究員	芦 澤 里 樹		研 究 員	塩 澤 佑 一 朗	
指 導 主 幹	河 西 伸 一	研 究 員	宮 澤 航 平		主 事(兼1)	渡 邊 大 河	
研 究 員	長 田 和 真 徳	(燃料電池評価プロジェクト)			会計年度任用職員	渡 邊 直 子	
会計年度任用職員	金 丸 美 徳	会計年度任用職員	加賀爪 広		会計年度任用職員(兼1)	大 月 恵 美	
		会計年度任用職員	穴 水 弘 一				
		会計年度任用職員	平 賀 庸 子		[技術支援科]		
		会計年度任用職員	塩 原 敦		主任研究員	秋 本 梨 恵	
		会計年度任用職員	丸 山 知 子		指 導 主 幹	吉 村 千 秋	
甲府技術支援センター					会計年度任用職員	勝 俣 久 美	
センター長	花 形 俊 彦				会計年度任用職員	高 山 美 和	
副センター長	宮 川 和 幸						
		機械技術部			機械電子技術部		
食品酒類・研磨宝飾技術部		部 長	西 村 通 喜		部 長	萩 原 義 人	
主幹研究員・部長	石 黒 輝 雄						
		主任研究員	小 松 利 安		[機械電子科]		
[食品酒類・バイオ科]		主幹研究員	早 川 亮		主幹研究員	勝 又 信 行	
主任研究員	長 沼 孝 多	主任研究員	米 山 陽		主任研究員	古 屋 雅 章	
主任研究員	尾 形 美 貴	専門員	岩 間 貴 司		技 師	渡 邊 慧 輔	
主任研究員	橋 本 卓 也	研 究 員	坂 本 智 明				
研 究 員	樋 口 か よ	技 師	雨 宮 敦				
					[素材科]		
[研磨・宝飾科]					主任研究員	寺 澤 章 裕	
主任研究員	宮 川 和 博				主任研究員	望 月 陽 介	
専門員	佐 野 照 雄				会計年度任用職員	堀 内 亀 代 治	
研 究 員	佐 藤 貴 裕						
会計年度任用職員	相 原 優 子						
会計年度任用職員	鶴 田 裕 太						

(兼1)：所内兼務 (富)：富士技術支援センター
(兼2)：総合理工学研究機構と兼務

5. 職員配置

(令和7年3月31日現在)

	行政職							研究職												会計 年度任用職員	合計
	所 長	セン ター 長	副 セン ター 長	課 長	副 主 査	主 任	主 事	セン ター 長	副 セン ター 長	研 究 管 理 幹 事	特 別 職 非 常 勤	主 幹 研 究 員・ 部長	部 長	主 幹 研 究 員	指 導 主 幹	主 任 研 究 員	専 門 研 究 員	研 究 員	技 師		
山梨県産業技術センター	1																				1
管理・連携推進センター		(1) ¹								2(1) ²	1										3 (2)
総務課				(1) ¹	1	(1) ²	2													3	6 (2)
企画連携推進部												1									1
総合相談・連携推進科																1(1) ¹		(1) ¹			1 (2)
企画・情報科															1	2		1		1	5
甲府技術支援センター		1							1												2
食品酒類・研磨宝飾技術部												1									1
食品酒類・バイオ科																3		1			4
研磨・宝飾科																1	1	1		2	5
電子・システム技術部													1								1
電子応用科																1	1	2	1	1	6
システム開発科																2	1		2		5
材料・燃料電池技術部												1									1
工業材料科														1		3					4
化学・燃料電池科																3		1			4
(燃料電池評価プロジェクト)																				5	5
機械技術部													1	1		2	1	1	1		7
デザイン技術部													1			2		1		2	6
ワイン技術部													1			1		1		2	5
富士技術支援センター			1					1		(1) ¹											2 (1)
繊維技術部												1									1
製品開発科							(1) ¹							1		1(1) ¹		1		1(1) ¹	4 (3)
技術支援科															1	1				2	4
機械電子技術部													1								1
機械電子科														1		1			1		3
素材科																2				1	3
合計	1	1 (1) ¹	1 (1) ¹	0 (1) ¹	1 (1) ²	0 (1) ¹	2 (1) ¹	1	1	2 (1) ¹ (1) ²	1	4	5	4	2	26 (2) ¹	4 (1) ¹	10 (1) ¹	5 (1) ¹	20 (1) ¹	91 (10)

(括弧)¹：所内兼務

(括弧)²：総合理工学研究機構と兼職

6. 令和6年度決算

主な事業経費

歳入

区分（人件費を除く）	決算額 (千円)	備考
試験等手数料	7,305	依頼試験、依頼加工、証明書等
機械使用料	34,843	設備使用
生産物売払収入	322	ワイン、酵母
受託事業収入	1,700	中小企業課題対応受託研究
行政財産使用料	13	行政財産の使用に係る収入
財産貸付収入	242	自動販売機設置
外部資金	1,709	難燃性マグネシウム合金自動車用大型部材製造技術開発事業費

歳出

区分（人件費を除く）		決算額 (千円)	備考
所運営費（主な経費） ・運営会議（委員謝金、旅費、その他） ・依頼試験関連経費（消耗品費、修繕費） ・外部評価会議（委員謝金、旅費）		169,442	所の運営に要する経費
研究指導費（主な経費） ・研究事業関連経費 （備品、消耗品、委託費、原材料費、旅費、負担金） ・講習会等の開催に係る経費（講師謝金、旅費等） ・技術情報構築支援事業 ・利用促進事業		85,695	経常研究費 技術相談、中小企業課題対応受託研究、企業訪問（技術支援） 情報提供等に要する経費
成長戦略研究費		8,035	成長戦略研究に係る研究費
総合理工学研究機構費		3,616	総合理工学研究機構に係る研究費
ワインセンター費（主な経費） ・ワイン製造に係る経費		9,808	ワイン技術部の運営等に要する経費
デザインセンター費 ・デザイン情報調査提供事業		1,051	中小企業のデザイン開発力向上のためのデザイン情報の収集・提供等の事業に要する経費
職員職務発明特許出願費		1,320	職員の職務発明等に関する特許出願、県有特許権の管理を行う経費
高度研究開発促進事業費		3,101	県内産業の高度化を図ると同時に産業技術センターの研究開発を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材による指導を行うための経費
基礎的技術産業集積活性化推進事業費（主な経費） ・ものづくり人材育成研修事業 ・イノベーション支援棟管理費 ・富士技術支援センターイノベーション支援棟整備事業費		121,529	医療機器をはじめとする機械電子産業や地場産業などの製品開発支援機能を強化することで、中小企業を後押しして高付加価値化を図り、受注拡大に繋げるための経費
山梨ものづくり支援事業 ・県産ワイン・日本酒品質強化支援事業費		14,440	製品の品質評価について、技術者の育成や必要な機器整備等に要する経費（地方創生推進交付金事業）
外部資金	燃料電池関連産業集積・育成支援事業費 ・燃料電池評価プロジェクト推進事業費	54,992	燃料電池セルの発電特性評価をおこなう機能の確立と人材育成を図り、燃料電池関連産業の集積と育成を促進するための事業に要する経費
	難燃性マグネシウム合金自動車用大型部材製造技術開発事業費	1,709	NEDOの「戦略的省エネルギー技術革新プログラム事業」に参画して研究を行う経費

7. 新設機器・設備

(1) 甲府技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
競輪の補助金(JKA)	近接電磁界イミュニティ試験システム	(株)テクノサイエンスジャパン TEPTO-RS/MAG 他	電子機器に近接した放射源からの電磁界耐性を試験
競輪の補助金(JKA)	小型万能材料試験機	(株)エー・アンド・デイ RTH-1310	各種材料・製品の引張・圧縮・曲げ試験
地方創生推進交付金	卓上型電子顕微鏡システム	(株)日本電子 JCM-7000 NeoScope	低真空中で観察物の損傷を防ぎながら反射電子を用いて像観察を行う
地方創生推進交付金	顕微鏡システム	(株)ニコン ECLIPSE Ni-L	明視野、微分干渉の観察モードにより光学的に像観察を行う
地方創生推進交付金	リアルタイム PCR	タカラバイオ(株) Thermal Cycler Dice TP1010	DNA、RNA が増幅する過程のリアルタイム観察により定性を行う
県単独	振動解析用パソコン	HP ProBook 450 G10	加速度センサなどから得た信号を解析や保存する
県単独	チャージアンプ	(株)小野測器 CH-1200A	加速度センサの信号を増幅する装置
県単独	SLA 方式 3D プリンタ	Formlabs Form3+	光造形積層による工業用製品・部品の試作用 3D プリンタ
県単独	FDM 方式 3D プリンタ	QIDI TECH X-Plus3	熱融解積層による工業用製品・部品の試作用 3D プリンタ
県単独	合成皮革等デザイン検討システム	Apple MacBook、他	デザイン検討用
県単独（総理研）	LCMS/MS 用メソッドパッケージ	(株)島津製作所	糖・糖ヌクレオチドの成分分析

(2) 富士技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
地方創生交付金	デザインシステム	(株)島精機製作所 SDS-ONE APEX4-2	織物のデザイン、配色、設計、織物シミュレーションを行う装置
地方創生交付金	サンプル織機（小幅サンプル織機）	(株)トヨシマビジネスシステム 織華（12 インチ・二重ビーム）	電子制御ドビー式 24 枚綜統、小幅のサンプル織機
地方創生交付金	サンプル織機（刺繍ミシン）	ブラザー工業(株) 業務用刺繍ミシン・PR680W	6 針・A4 サイズまで刺繍加工が可能な装置
地方創生交付金	サンプル織機（卓上手織機）	(株)東京手織機 ハンディールーム 400・KC8040	8 枚綜統、40cm 幅の手織機
地方創生交付金	X 線 CT 検査装置	テスコ(株) TXS-CTN 300 micro	エックス線を試験体に照射することで、内部構造や材料欠陥などを観察できる装置
地方創生交付金	微細加工用ワイヤー放電加工機	三菱電機(株) MX600	細線ワイヤー（0.02mm～0.2mm）を用いて、高精度で微細な形状が切断加工できる装置

8. 山梨県産業技術センター 第2期中期運営計画

産業技術センターでは、第1期中期運営計画の実施結果を踏まえ、県内中小企業が安定的に収益を上げ、持続的に成長していくことを目標に掲げ、令和5年度から8年度までの4年間の第2期中期運営計画を策定し、実施しています。

【産業界が直面している状況】

■世界的な潮流

- ・原油価格・原材料価格の高騰
- ・世界的な半導体不足の影響
- ・脱炭素化・SDGs への取り組みが加速
- ・新型コロナウイルスの影響

■地域固有の課題

- ・迅速なものづくりの展開
- ・技能・技術の更なる深化・高度化
- ・技能・技術の円滑な継承
- ・適切な DX への取り組み

【計画の方向性とアクション】

<Action1：技術支援機能の強化>

産業構造の変化や製品の多様化に伴う企業ニーズの変化や社会情勢の変化に柔軟に対応していくため、出口を見据えたソリューション機能の充実を図りながら、技術支援機能を強化する。

- ① 技術支援業務の推進
- ② DX 関連技術に関する技術支援の推進
- ③ 総合相談窓口業務の推進
- ④ 要素技術分野及び戦略産業分野の支援
- ⑤ 中小企業重点支援事業の実施
- ⑥ スタートアップ支援の推進

<Action2：技術移転・事業化支援の推進>

成長分野への進出や未来の山梨の創造につながる研究に取り組み、その成果の技術移転によって企業の技術力及び製品開発力の強化、更なる競争力の強化につなげ、新たな事業展開へと発展させる。

- ① 戦略的な研究の推進
- ② 戦略的な知財の権利化・ノウハウの蓄積
- ③ 研究成果の普及及び情報発信の推進
- ④ 研究成果の技術移転の推進
- ⑤ 多様な企業ニーズに応える受託研究や共同研究の推進

<Action3：オープンイノベーション※による高付加価値製品開発の推進>

他の研究機関や産業支援機関、金融機関等との連携強化によりオープンイノベーションを推進し企業が求める課題に迅速かつ的確に対応する。

- ① 他機関との連携推進
- ② オープンイノベーション推進のための橋渡し業務
- ③ ブランド・デザイン戦略の推進と、試作創作機能の整備及び人材育成
- ④ 脱炭素化・水素利用社会への適応
- ⑤ 地域の課題を地域の技術で解決し、事業化につなげるオープンイノベーションの推進

<Action4：組織運営の最適化>

社会情勢や経済状況がめまぐるしく変化していく中、多様な技術ニーズに柔軟に対応できる組織体制を構築する。

- ① 計画的な職員の能力開発と育成
- ② 危機管理対策の推進
- ③ センター運営の見える化・効率化

【最終目標】

オープンイノベーションと DX の促進による持続的成長企業の創出

※ オープンイノベーション：既存の組織の枠組みを超え、広く知識や技術を集結してイノベーションを起こすこと

9. 令和6年度業務体系

令和6年度は、「技術支援」「研究開発」「人材育成」「情報提供」「技術移転・事業化支援」を柱に、中小企業が抱える技術課題の解決や新技術・新製品開発の支援、次世代の産業展開に向けた支援等を実施した。

●事業の具体的な取り組み

【技術支援業務】

- 現地技術支援（企業等へ直接出向いた支援）
 - ・製造現場での技術支援
 - ・研究成果を活用した技術支援
 - ・未利用企業訪問
 - ・各種団体等の要請による職員派遣
- 技術相談・依頼試験・設備利用
 - ・依頼試験、設備利用への対応
 - ・各部及び各担当間で連携した技術支援
 - ・設備利用研修の実施
 - ・設備機器の利用促進
- 総合相談窓口の体制強化
 - ・関係機関との連携強化
 - ・甲府と富士の連携強化（オンラインシステムの活用）
- 中小企業重点支援事業の実施（職員を一定期間企業に派遣しての技術支援）
 - ・研究員を派遣し、企業の直面する課題を解決
 - ・特に高度な知識、技術を要する課題等に対しては客員研究員を派遣
- 成長産業への参入促進
 - ・やまなし産業支援機構など関係機関と連携し、クリーンエネルギー、燃料電池、医療関連機器などの成長分野の事業化に取り組む企業へ技術支援を実施
- 中小企業の海外展開支援事業
 - ・規格適合性評価試験サービス
 - ・海外規格情報の閲覧サービス
 - ・専門相談員による技術相談
 - ・JETRO との連携による支援
- IoT 化による生産性向上の支援
 - ・IoT、ロボットに関する研究開発に取り組み、技術やノウハウを蓄積
 - ・AI/IoT 技術導入に関する支援
- 戦略産業分野への支援
 - ・燃料電池関連技術及び医療機器関連産業分野への支援
- 地域産業の個別課題を地域内で解決する取り組み
 - ・オープンイノベーション推進の取り組み
- 公設試験研究機関との連携強化を図る中で機器整備や支援事業を実施
 - ・IoT 産業への参入支援のための機器整備
 - ・医療産業などの成長分野関連技術の支援

- やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業
 - ・これからの産地を先導する若手従業者等のネットワーク構築を支援
- 技術研究会
 - ・技術を核とした研究会活動を支援

【研究開発業務】

- 産学官連携研究の促進
 - ・研究テーマ 26 課題を実施。このうち 13 課題を企業、大学及び総合理工学研究機構等と連携して実施
 - ・国の委託事業（戦略的基盤技術高度化支援事業等）の積極的な取り組み
 - ・早期事業化に向けた研究の推進
- 競争的資金の積極的な獲得と活用支援
 - ・競争的研究資金の導入支援
- 産業財産権取得と有効活用促進
 - ・産業財産権等の取得を意識しながら研究開発業務を実施
- 課題対応受託研究への対応
 - ・企業で対応が困難な研究開発課題をセンターが実施
- 燃料電池評価プロジェクト推進事業
 - ・燃料電池セルの特性評価を行える機能を確立し、技術支援体制を強化
- オープンイノベーションの推進
 - ・企業ニーズを把握して大学等の技術シーズを探索し、国・県・産業支援機関等の補助制度を活用できるように支援
 - ・信州大学繊維学部との連携推進
 - ・産業技術総合研究所との連携推進（産総研 IC 事業の推進）
- 研究成果の普及啓発及び情報発信の促進
 - ・出前技術講座、企業巡回、ホームページなどにより周知

【人材育成業務】

- 技術講習会・研修会
 - ・最新の技術情報や、事業化、経営支援に関する情報提供を行う講習会・研修会を開催
- 出前技術講座
 - ・センター職員を企業、組合等に直接派遣して講座を実施
- ものづくり人材育成研修
 - ・県内企業を対象に、製造技術、開発技術、評価技術等について、座学、実習形式で研修を開催
- 県産ワイン・日本酒品質強化支援事業
 - ・卓上型電子顕微鏡システム、顕微鏡システム、リアルタイム PCR の整備
 - ・企業技術者の交流会や導入機器に関するセミナー等の開催
- 技術者研修
 - ・中小企業の従業員等を一定期間受け入れて行う研修を実施
- オープンイノベーション推進のための人材育成
 - ・オープンイノベーションの理解度を高め、効果的にオープンイノベーションを推進

【情報提供業務】

- 研究成果速報の配信、研究報告の発行、研究成果の動画配信
- 刊行物（年報、センターニュースおよびデザイン情報紙）の発行
- Web（甲斐絹ミュージアム、フェイスブック、YAMANASHI DESIGN ARCHIVE）による情報発信
- やまなし産学官連携研究交流事業での研究成果発表（オンライン開催）
- プロポーザルページによる情報発信
- センター利用の手引き及びメールマガジンの提供

【技術移転・事業化支援業務】

- 研究成果の技術移転促進
 - (a) 研究成果フォローアップ事業
 - ・ 終了した研究テーマの追試験や試作等を行うことで研究成果を発展させ、技術移転を促進
 - (b) 企業ニーズ対応試作開発事業
 - ・ 研究成果に対して、企業から技術移転や事業化の要望がある場合に、試作等による補完研究を実施
- 産学官金連携による事業化支援
 - ・ 「オープンイノベーション推進ネットワーク」により、ニーズの把握から研究開発の実施、販路開拓等を一元的に支援

【その他の事業】

- センターの運営に関すること
 - ・ 運営会議の開催
 - ・ 外部評価会議の開催
 - ・ 業界との意見交換（個別訪問）
- 技術支援に資する機器の設置
 - ・ 計画的な設備機器の新規導入・更新等
- 技術交流
 - ・ 産業技術連携推進会議、学会等への参加・発表
 - ・ 各種会議・審査会等への派遣
- 職員の資質向上
 - ・ 職員のスキルアップに向けた計画的な研修派遣

10. 令和6年度業務実績一覧表

管理企画：管理・連携推進センター／企画連携推進部、食品研磨：食品酒類・研磨宝飾技術部、電子システム：電子・システム技術部、材料燃料電池：材料・燃料電池技術部、機械：機械技術部、デザイン：デザイン技術部、ワイン：ワイン技術部、繊維：繊維技術部、機械電子：機械電子技術部

		管理 企画	食品 研磨	電子 シス テム	材料 燃料 電池	機械	デザ イン	ワイン	繊維	機械 電子	計
技術支援											
現地技術支援	企業数	17	207	282	67	46	147	46	124	101	1,037
製造現場での技術支援	企業数	17	192	228	59	28	90	40	122	90	866
未利用訪問	企業数	0	11	15	4	15	2	1	2	1	51
研究成果普及支援	企業数	0	4	39	4	3	55	5	0	10	120
試験研究機関・大学・金融機関との連携	件	6	1	17	1	3	6	0	0	3	37
技術相談	件	41	733	988	1,281	877	267	256	554	785	5,782
来所相談	件	16	536	519	781	714	172	240	510	561	4,049
電話相談	件	21	160	185	130	52	24	16	11	152	751
インターネット相談	件	4	37	284	370	111	71	0	33	72	982
中小企業重点支援事業	企業数	0	2	3	0	1	0	1	0	1	8
依頼試験	件	-	392	0	2,017	416	56	1,308	673	526	5,388
依頼加工	件	-	1,283	0	0	0	0	0	0	67	1,350
設備使用	件	-	1,867	9,782	5,294	2,235	269	1,165	543	7,619	28,774
試験成績証明書等交付	件	-	6	0	7	0	29	5	3	8	58
設備利用研修会	回	-	1	2	2	1	0	0	0	0	6
	参加者数	-	5	21	19	11	0	0	0	0	56
設備利用研修（個別）	参加者数	-	35	39	36	71	35	11	14	119	360
研究会への支援	回	-	4	-	8	3	3	-	-	4	22
	参加者数	-	130	-	101	25	26	-	-	61	343
やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業	回	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
	参加者数	-	-	-	-	-	-	-	50	-	50
客員研究員指導	回	0	4	10	-	2	16	-	23	-	55
試験研究											
研究テーマ	テーマ数	0	4	3	5	3	3	1	3	4	26
成長戦略研究	テーマ数	0	2	0	2	1	1	0	0	1	7
総理研研究	テーマ数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
経常研究	テーマ数	0	2	2	1	2	2	1	2	3	15
競争的資金研究	テーマ数	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
課題対応受託研究	テーマ数	0	1	0	0	1	0	1	1	0	4
産業財産権	件	0	1	0	4	0	3	0	17	0	25
特許権等（登録）	件	0	1	0	3	0	0	0	0	0	4
〃（出願）	件	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
〃（実施許諾）※契約数	件	0	0	0	0	0	2	0	17	0	19
業績発表	件	14	8	3	11	3	0	3	0	8	50
口頭発表（学会等）	件	6	2	1	5	1	0	2	0	3	20
口頭発表（その他）	件	3	1	1	3	1	0	1	0	1	11
ポスター発表（学会等）	件	0	3	0	2	1	0	0	0	3	9
学会誌等掲載	件	3	2	1	1	0	0	0	0	1	8
専門誌等掲載	件	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
人材育成											
出前技術講座	講座	0	2	4	5	0	3	6	9	2	31
	参加者数	0	64	332	107	0	101	273	229	22	1,128
ものづくり人材育成研修	講座	-	0	1	2	2	3	0	2	1	11
	参加者数	-	0	6	9	7	20	0	10	3	55
講習会・研修会	講座	1	2	5	5	2	5	5	1	2	28
	参加者数	30	58	165	70	35	144	164	9	24	699
県産ワイン日本酒品質強化支援事業	講座	-	4	-	-	-	-	1	-	-	5
	参加者数	-	65	-	-	-	-	8	-	-	73
技術者研修	受講者数	0	0	0	0	1	14	0	8	0	23
情報提供											
研究成果発表会	参加者数	62	-	-	-	-	-	-	-	-	62
研究成果紹介（動画配信）	テーマ数	0	3	1	2	1	0	1	0	1	9
研究成果紹介（ポスター）	テーマ数	0	8	4	7	4	2	2	3	5	35
センターニュース、デザイン情報紙発行	回	3	-	-	-	-	6	-	-	-	9
メールマガジン発信	回	32	-	-	-	-	-	-	-	-	32
プロポーザルページ（ホームページ）	回	6	-	-	-	-	-	-	-	-	6
技術移転・事業化支援											
一般（産業財産権実施許諾を含む）	件	0	6	0	0	0	64	0	17	0	87
フォローアップ事業／ニーズ対応試作開発事業	件	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
見学者											
人		78	64	78	81	61	94	46	47	9	558
報道関係											
テレビ等	件	2	0	0	0	0	2	2	1	0	7
新聞等	件	2	0	0	2	0	1	5	3	0	13

運営

1. 運営会議

(1) 会議の概要

実施日	議題
令和6年8月8日 (会場:甲府技術支援センター)	(1) 第2期中期運営計画の進捗状況と令和6年度の実施計画について (2) その他

(2) 構成員（委員）名簿

【学識経験者】		
氏名	所属	役職
茅 暁陽	国立大学法人 山梨大学	理事・副学長
早川正幸	公立大学法人 山梨県立大学	理事長・学長
名取貴光	学校法人 C2C Global Education Japan 山梨学院大学	健康栄養学部長
【業界関係者】		
氏名	所属	役職
内田長久	山梨県菓子工業組合	理事長
天野 怜	山梨県酒造組合	会長
武田信彦	山梨県味噌醤油工業協同組合	理事長
柳本 力	協同組合山梨県ジュエリー協会	理事長
中込 裕	一般社団法人 山梨県情報通信業協会	副会長
伊藤征人	一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会	副会長
青木一樹	一般社団法人 山梨県機械電子工業会	会長
小林弘憲	山梨県ワイン酒造組合	副会長
加々美 好	山梨県絹人繊維物工業組合	理事長
【関係機関】		
氏名	所属	役職
依田誠二	公益財団法人 やまなし産業支援機構	理事長

2. 試験・研究課題等の外部評価会議

(1) 評価に対する考え方

評価を受ける目的	「山梨県立試験研究機関における評価指針（H13.3策定）」に基づき、山梨県産業技術センターが計画・実施する試験研究が、効率的かつ効果的に実施されるよう、公平中立の立場から客観的な意見をいただくために実施する。		
評価を受ける課題	山梨県産業技術センターが実施する研究は、すべて評価対象研究課題とする。ただし、国や企業等からの受託研究は、評価対象研究から除く。 (受託研究は国や企業等の目的に基づいて行うものであり、研究費も委託者が負担するものであるため。)		
研究課題の評価方法	評価の種類は、「事前評価」「中間評価」「事後評価」の3種類とする。評価方法は、効果的・効率的な研究の推進と、研究員の意識啓発をねらいに、客観的判断が可能な5段階評価方式とする。		
	事前評価項目	中間評価項目	事後評価項目
	①研究の必要性 ②研究内容の新規性 ③研究目標、研究計画の妥当性 ④研究体制、研究予算の妥当性	①研究計画の進捗度 ②今後の研究計画の妥当性	①研究目標の達成度
評価結果に対する対応	●事前評価、中間評価では、評価点に対し、次のとおり対応する。 ・3点以上の課題は、評価コメントを参考に必要に応じて修正し実施する。 ・2点を超え3点未満の課題は、コメントを参考に実施について再検討する。 ・2点以下の課題は、原則不採用または中止とする。 ●事後評価は、次の基準で採点される。 ・5点：計画を上回る成果となった ・4点：計画どおりの成果となった ・3点：おおむね計画どおりの成果となった ・2点：計画を下回る成果となった ・1点：成果が得られていない それぞれの評価コメントを、技術移転や研究立案に役立てていく。 また、評価点は、研究者が自らの研究を客観的に評価するための参考としていく。		

(2) 評価対象課題

実施日	対象課題	評価種別
(基盤分野) 令和6年8月28日	(基盤分野 3テーマ) ・プラスチック材料の耐候性における水噴霧の影響 ・EMI試験における特性改善に関する研究 ・トポロジー最適化解析による製品の高付加価値化に関する研究	事後評価
	(基盤分野 2テーマ) ・マグネシウム合金耐食性皮膜の高品質化に関する研究 ・金属積層造形条件と造形物の機械的特性に関する研究	中間評価
	(基盤分野 8テーマ) ・「山梨らしさ」を評価する感性評価モデル構築に適した学習画像に関する研究 ・水素の還元性を利用した工業用途創出に関する研究 ・ブドウCNFの新規活用技術の開発 ・大型化する半導体製造装置部品の生産性向上に関する研究 ・新規めっき加工技術に関する研究 ・輸送環境を考慮した積み重ね振動試験方法に関する研究 ・促進耐候性試験によるポリスチレンの紫外線劣化に関する研究 ・各種分析機器を用いた複合樹脂の分散性評価手法の確立に関する研究	事前評価

実施日	対象課題	評価種別
(地場分野) 令和6年8月27日	(地場分野 4テーマ) ・高級ノンアルコール飲料の開発 ・山梨県の新しいブレンド白ワインに関する研究 ・磁気バレル研磨機の加工能力向上に関する研究 ・バナジウム染色加工製品の高品質化に関する研究	事後評価
	(地場分野 1テーマ) ・デジタルジャカード技術を応用したテキスタイル開発	中間評価
	(地場分野 3テーマ) ・山梨県産甲州ワインの香気成分の特徴解析に関する研究 ・ジュエリー加工における宝石の取り扱い指針に関する研究 ・県産材料による新規草木染め技術を活用した高付加価値繊維製品の試作	事前評価

(3) 評価結果

①令和5年度に完了した研究課題の事後評価について

令和5年度に研究が完了した7課題の事後評価の評価点は、基盤分野では4.0、地場分野では3.0～4.0の範囲（平均3.8）であった。これらについては、今後、評価委員のコメントを参考に技術移転等に努めていく。

②令和7年度に実施する研究課題の事前評価及び令和6年度における中間評価について

事前評価対象11課題の評価点は、基盤分野では3.3～3.8の範囲（平均3.5）、地場分野では3.3～3.5の範囲（平均3.4）であった。中間評価対象3課題の評価点は、基盤分野では3.0～4.0の範囲（平均3.5）、地場分野では4.0であった。評価点の平均が3点以上の課題については、外部評価委員からのコメントを参考に研究を実施・継続することとした。

(4) 委員名簿

基盤分野

氏名	所属	役職
郷健太郎	国立大学法人 山梨大学	教授
平晋一郎	国立大学法人 山梨大学	准教授
青木一樹	キャノンアネルバ株式会社	富士事業所長
小澤一昭	株式会社山梨県環境科学検査センター	代表取締役社長
菊地明久	株式会社長田電材工業	代表取締役社長

地場分野

氏名	所属	役職
奥田 徹	国立大学法人 山梨大学	理事・副学長
中川裕子	学校法人 C2C Global Education Japan 山梨学院短期大学	教授
柳本知一	一般社団法人 甲府宝飾協会 山梨県貴金属装身具技能士会	理事 理事

氏名	所属	役職
中澤智子	一般社団法人 山梨県食品衛生協会	常務理事
小林新司	有限会社テンジン	代表取締役社長

3. 業界との意見交換

業種	業界団体	内容	実施日
食品・酒類	山梨県ワイン酒造組合	(1) 景況について (2) 意見交換 ※個別訪問により実施 ※各業界団体から、意見交換の場の 要望を確認したうえで実施を判断	令和6年10月24日
機械電子	一般社団法人 山梨県機械電子工業会		令和6年10月28日
			令和6年10月30日
織 維	山梨県絹人織織物工業組合		令和6年11月5日

技術支援業務

1. 技術相談、現地技術支援の担当別実績

部	担当	技術相談 (件)	現地技術支援 (企業数)	見学者 (名)
企画連携推進部		41	17	78
食品酒類・研磨宝飾技術部	食品酒類・バイオ科	423	179	64
	研磨・宝飾科	310	28	
電子・システム技術部	電子応用科	632	164	78
	システム開発科	356	118	
材料・燃料電池技術部	工業材料科	568	27	81
	化学・燃料電池科	713	40	
機械技術部		877	46	61
デザイン技術部		267	147	94
ワイン技術部		256	46	46
繊維技術部	製品開発科	383	24	47
	技術支援科	171	100	
機械電子技術部	機械電子科	560	43	9
	素材科	225	58	
合計		5,782	1,037	558

2. 中小企業重点支援事業

(1) テーマ一覧

テーマ	担当	期間
幾何公差の基礎習得	機械技術部	R6/4/26
摘果もも加工品の製造における衛生管理法の確立	食品酒類・バイオ科	R6/5/30～9/30
高周波伝送ケーブル製造技術の高度化	電子応用科	R6/5/30～9/30
製造業 DX に向けた試作システムの高度化	システム開発科	R6/6/18～R7/2/12
亜硫酸を用いた赤ワインの品質管理について	ワイン技術部	R6/7/8～7/19
金型の残留樹脂材料の除去	素材科	R6/8/7～10/31
ロボットを活用した自動化および省力化に関する検討	システム開発科	R6/10/4～R7/2/13
蔵内の衛生管理手法の更新	食品酒類・バイオ科	R7/3/6～3/28

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	2	3	0	1	0	1	0	1	8

3. 客員研究員による支援

中小企業の技術及びデザインの高度化を図るとともに、産業技術センターの研究開発力を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材を国内外から客員研究員として招聘する。

○食品関連（食品酒類・バイオ科）

氏名 田中 浩（たなか ひろし）
所属 諏訪杜氏
支援概要 日本酒製造分野における技術支援
支援実績

- ・日本酒製造技術の向上に係る研究の推進
- ・日本酒製造分野における職員の人材育成に必要な技術情報の収集
- ・日本酒製造技術に係る課題の解決に必要な技術支援

○ロボット、AI/IoT関連（システム開発科）

氏名 小谷 信司（こたに しんじ）
所属 国立大学法人山梨大学 大学院総合研究部 教授
支援概要 ロボット、AI/IoT等に関する指導・企業支援
支援実績

- ・県内企業への技術支援
- ・技術講習会、出前技術講座での講演
- ・センター職員への研究および技術指導

○オープンイノベーション関連（企画連携推進部）

氏名 角田 義人（つのだ よしと）
所属 株式会社ファーストスクリーニング 取締役
支援概要 オープンイノベーションの取り組みに対する指導・企業支援
支援実績

- ・オープンイノベーションによる装置の開発に関する支援
- ・オープンイノベーションによる知財戦略に関する支援
- ・自社製品等の開発・販売に関する支援

○精密測定関連（機械技術部）

氏名 中村 哲夫（なかむら てつお）
所属 CDT研究所 代表
支援概要 幾何公差方式に関する技術支援
支援実績

- ・中小企業重点支援事業による技術支援
- ・県内企業への技術支援
- ・技術講習会、ものづくり人材育成研修、出前技術講座での講演
- ・センター職員への技術指導

○デザイン（デザイン技術部）

氏名 大沼 敦（おおぬま あつし）
所属 株式会社大沼デザインスタジオ 取締役
支援概要 地場産業、伝統工芸の技術・素材の潜在能力の把握～商品開発への展開支援
支援実績

- ・県内企業への技術支援
- ・センター職員への研究および技術指導

○デザイン（繊維技術部）

氏名 家安 香（いえやす かおり）
所属 Edelkoort East株式会社/トレンドユニオン日本支社 代表
支援概要 繊維産業におけるブランド力の向上
支援実績

- ・やまなし地場産品ブランド化支援事業による総合プロデュース
- ・個別相談支援、合同勉強会等

4. 依頼試験・設備利用等

(1) 実績一覧

項目	依頼試験	依頼加工	設備使用	証明書等交付	合計
件数	5,388	1,350	28,774	58	35,570

(2) 依頼試験の内訳

①項目別

項目	機械 金属	精密 測定	環境 試験	電気 電子	化学 分析	貴金属 ・ 宝飾石	食品・ 酒類・ 微生物	ニット ・ 縫製	設計 解析	繊維	合計
件数	1,040	344	1,416	0	239	0	1,624	56	0	669	5,388

②担当別

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	392	0	2,017	416	56	1,308	673	526	5,388

(3) 依頼加工等の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1,283	0	0	0	0	0	0	67	1,350

(4) 設備使用の内訳

①項目別

項目	機械 設計	工作 機械等	電気 電子	化学 分析	研磨 宝飾	食品 加工機	繊維	その他	合計
件数	20,753	102	3,193	2,921	1,047	144	545	69	28,774

②担当別

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1,867	9,782	5,294	2,235	269	1,165	543	7,619	28,774

(5) 試験成績証明書交付の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	6	0	7	0	29	5	3	8	58

(6) その他（酒母）

項目	件数	担当
酒母	11	ワイン技術部

(7) 設備利用研修会

①一覧

設備	実施日	担当	参加者数
新しい大型万能材料試験機の紹介	R6/10/8	工業材料科	5
ワイヤー放電加工機	R6/12/5～6	機械技術部	11
環境試験設備	R6/12/11	システム開発科	10
（公財）JKA 補助事業導入機器 新しい小型万能材料試験機の紹介	R7/1/16	工業材料科	14
分光蛍光光度計	R7/1/29	研磨・宝飾科	5
（公財）JKA 補助事業導入機器 近接電磁界イミューニティ試験システム	R7/2/25	電子応用科	11
合計			56

②担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	5 (1設備)	21 (2設備)	19 (2設備)	11 (1設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	56 (6設備)

(8) 設備利用研修（個別）

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	35	39	36	71	35	11	14	119	360

5. 研究会への支援

食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
食品酒類 ・ バイオ科	山梨県食品技術研究会	119	R6/7/5	総会	山梨県立図書館	21
			R6/5/10	特別講演会	ベルクラシック甲府	52
			R6/12/10	工場見学会	(株)はくばく 山梨本社・中央工場	10
			R7/2/21	技術講演会	甲府技術支援センター	47
合計						130

材料・燃料電池技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
化学・燃料電池科	山梨県表面処理研究会	17	R6/5/16	総会	甲府技術支援センター	12
			R6/8/29	勉強会	甲府技術支援センター	14
			R6/11/12	合同県外見学会	(独)造幣局 さいたま支局	13
			R6/12/29	第38回研究発表会	甲府技術支援センター	16
			R7/1/30	県外見学会	東京ビッグサイト 表面要素技術展	10
			R7/2/7	役員会	甲府技術支援センター	4
			R7/2/14	合同勉強会	甲府技術支援センター	26
			R7/3/19	役員会	甲府技術支援センター	6
合計						101

機械技術部

山梨県技術振興部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県型技術研究会	13	R6/8/8	総会	甲府技術支援センター	10
		R6/8/8	講演会	甲府技術支援センター	9
		R6/11/12	見学会	(独)造幣局 さいたま支局	6
合計					25

デザイン技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県ニット研究会	14	R6/6/6	総会	甲府技術支援センター	10
		R6/6/6	講習会	甲府技術支援センター	10
		R6/8/23	情報交換会	evam eva yamanashi	6
					26

機械電子技術部

関係者：技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
テクノネット「ふじざくら」	32	R6/5/21	幹事会	富士技術支援センター	10
		R6/7/16	総会及び講演会	富士技術支援センター	16
		R6/10/6	企業見学会	(株)小松精機工作所	11
		R6/12/19	講演会（2 講演）	富士技術支援センター	24
合計					61

6. やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業

新時代の担い手ネットワーク構築事業

これからの産地を先導する若手従業者が専門家とともに情報交換、ディスカッションを行う場を設け相互のネットワーク構築を支援した。

繊維技術部

テーマ	講師	期日	会場	参加者数
繊維産地のあるまち、の創造性を育む	田村大（リ・パブリック代表） 赤松智志（OULO代表）	R6/7/12	OULOイベントスペース	17
旅から感じた、日本を伝えること	鈴木修司（ビームスジャパンディレクター） 鈴木マサル（ウンピアットデザイナー） 家安香（客員研究員）	R7/2/15	FUJIIHIMURO	33

研究開発業務

1. 産学官連携研究の促進

(1) 研究の形態

区分	テーマ数	概要
成長戦略研究	7	やまなし科学技術基本計画に掲げる成長促進分野について、県の試験研究機関が行う研究
総理研研究	2	山梨県総合理工学研究機構※がコーディネートする産学官連携研究
経常研究	15	技術支援や企業の課題解決等のうえで必要となる研究
競争的資金研究	2	国や特殊法人が公募する競争的資金研究に採択された研究

※山梨県総合理工学研究機構は、県立試験研究機関の人的資源や設備、研究ノウハウを横断的、有機的に連携させ、新しい技術や、新しい産業創出につながる研究開発を行うとともに、産学官の連携を積極的に推進している県の組織

(2) 研究テーマ

①成長戦略研究

県産日本酒の競争力向上のための新規日本酒酵母に関する研究 (R2～R6)

長沼孝多・橋本卓也・尾形美貴（食品酒類・バイオ科）・天野怜（山梨県酒造組合）・山村英樹（山梨大学）

日本酒用酵母の開発を目的に得られた分離酵母について、総米5 kgの試験製造を実施した。その結果、分離酵母1-3は、きょうかい701号と比較して製成酒のリンゴ酸含有量が高く、ピルビン酸含有量が低い傾向が認められた。次に、酒造用水の分析を実施し、既報と合わせ計8期分の成分値を比較した結果、採水地ごとの成分値の変動は少なく、安定していることがわかった。また、採水地ごとの発酵試験を実施したところ、リン酸含有量が生成酒の比重に及ぼす影響が示唆された。

健康志向のパン製造技術の開発 (R4～R6)

樋口かよ・橋本卓也・長沼孝多（食品酒類・バイオ科）・芦澤里樹（化学・燃料電池科）

本研究では、県産小麦のふすまや全粒粉の成分分析や機能性の評価を行うとともに、風味や製パン性を向上できる方法を検討した。第3報では、機能性の評価とパンの種類別適性について検討した。機能性評価の一環として、でんぷんの消化反応試験を行った結果、小麦粉と比較して全粒粉では、グルコース量への変化がゆるやかとなったため、糖質の消化が抑制される可能性が示唆された。全粒粉を使用した製パン試験の総合評価結果では、全粒粉置換割合がソフト系型焼きパン（山食パン）では50%、ハード系パン（丸パン）では70%までが許容できることがわかった。すなわち、全粒粉置換割合を多くする際は、ハード系のパンにおける適性が高く、ソフト系の型焼きパンと比較してより多くの全粒粉を使用できることがわかった。

CNF技術を応用した新規和紙製品開発 (R4～R6)

芦澤里樹・上垣良信・宮澤航平（化学・燃料電池科）・塩澤佑一朗（製品開発科）・佐藤博紀（デザイン技術部）・森長久豊（山梨大学）・一瀬清治（市川和紙工業協同組合）・笠井伸二（山十製紙）・望月秀一（身延町西嶋和紙の里）

和紙製品の用途拡大と普及を目的として、和紙の耐水・耐摩耗性向上技術の確立を行った。さらに試作品の開発を行った。今年度は撥水性付与を目的としたワックスコーティング技術を開発した。簡便なコーティングのために、コーティング剤としてセルロースナノファイバーの乳化特性を利用したワックス乳化液を調製した。この乳化液を用いてコーティング、加熱処理した和紙は撥水性を示した。昨年度までに開発を行ったカルボキシメチルセルロース（CMC）の含浸と、それに続く架橋処理による湿潤・摩擦強度の向上と、今年度開発した撥水性付与処理を組み合わせることで耐水性和紙が得られた。得られた耐水性和紙を用いて、従来は紙の適用が困難であったスマートフォンケースなどの試作品数点を開発した。

マグネシウム合金耐食性皮膜の高品質化に関する研究 (R5～R7)

鈴木大介（工業材料科）・宮澤航平（化学・燃料電池科）・佐野正明（管理・連携推進センター）・三井由香里（総合相談・連携推進科）・石田正文（工業材料科）・長田和真（企画・情報科）・西野創一朗（茨城大学）・野坂洋一（㈱グローバルマグネシウムコーポレーション）

ピーニング加工に用いる投射材の種類の違いが、表面の不均一ひずみや残留応力に及ぼす影響について調査した。また、大気圧下の熱水中における水酸化皮膜形成の可能性について検討した。ピーニング加工に用いる投射材を変化させることで不均一ひずみを変化させることができた。残留応力はピーニング加工で付与できるが、投射材の種類によっては組織変化を伴い残留応力が低下することが明らかとなった。ピーニング加工を施すことによって、大気圧下の熱水中でも水酸化皮膜が形成されることが確認されるとともに、水酸化皮膜を形成するためには、一定以上の不均一ひずみの付与が必要であることが分かった。

NC 制御による局所的ピーニング処理法の研究 (R5～R6)

米山陽・早川亮・雨宮敦・西村通喜（機械技術部）・孕石泰丈・清水毅（山梨大学）

機械部品表面の引張残留応力は疲労強度の低下や応力腐食割れの要因になることが知られている。そのためショットピーニング処理などが適用される場合があるが、投射材による処理が適さない場合がある。そこで投射材を使用せず局所的に表面改質を行う新たな手法を考案した。しかし考案手法による加工時にそのメカニズムについて未解明な部分があった。そこで、加工時に工具先端と被削材間でどのような現象が発生しているか検証するため、高速度カメラによる加工現象の実験的解析を試みた。その結果、ピーニング効果の高い塑性加工が優位となる加工パターンを見出すことができた。

ダイカスト金型の高機能化に関する研究 ―実証試験による金型評価― (R5～R6)

萩原義人（機械電子技術部）・寺澤章裕（素材料）・早川亮（機械技術部）・石田正文・鈴木大介・深澤郷平（工業材料科）・勝又信行・古屋雅章（機械電子科）・佐野正明（管理・連携推進センター）・平晋一郎（山梨大学）・田中隆三・吉田光慶・岩尾翔太（㈱松浦機械製作所）・奥村鉄平・熊谷祥希・小川翼（大同特殊鋼㈱）・西村央・安徳亮（㈱プログレス）

金属3Dプリンタを活用した高品質で高寿命なダイカスト金型の開発を目的として、第1報では、造形した試験片の物性評価を行うことで、最適な造形条件を見出すことができた。

本報では、得られた最適条件を用いて3D冷却管を有する金型を造形し実証試験により評価を行った。

その結果、従来の冷却管構造では試作段階の100ショット程度で焼付き不良が生じていたのに対し、金属3Dプリンタで作製した3D冷却管を有する金型では300ショット時点でも焼付き不良が生じないことを確認できた。

山梨の特徴的な素材を生かしたアップサイクル技術の開発 (R6～R8)

串田賢一・鈴木文晃・佐藤博紀（デザイン技術部）・上垣良信・芦澤里樹（化学・燃料電池科）・田所哲治（トリプルユー㈱）・笠井伸二（㈱山十製紙）

本研究は、山梨県特有の資源である白色鹿革およびワインパミス（ぶどう搾汁滓）に着目し、これらをアップサイクル素材として活用する新たな試みである。この成果は、地域固有の未利用資源を有効活用するアップサイクルの新たなモデルとして、持続可能な地域社会の実現に貢献できるものと考えられる。

②総理研究

富士山噴火の減災に資する実験教材の開発 (R4～R6)

秋本梨恵（技術支援科）・五十嵐哲也（繊維技術部）・吉村千秋（技術支援科）・吉本充宏・久保智弘・石峯康浩・本多亮・亀谷伸子・山河和也・佐藤明夫（富士山科学研究所）・三ツ井聡美（筑波大学）・酒井慎一（東京大学地震研究所）・内山美恵子（都留文科大学）・秦康範（日本大学）・横山光（北翔大学）・藤巻圭吾（忍野小学校）

富士山の噴火に備え、地域住民の防災力向上が重要である。本研究では、災害に強い児童・学生を育成するための噴火災害に関する実験教材を開発し、火山知識の向上を目指すものである。産業技術センターは噴煙実験装置の改良・試作を担当し、令和6年度には装置の課題を改善した試作品を製作した。また、組み立てや実験方法の解説動画を作成した。これらの成果を基に、次年度以降予定されている後続研究で防災学習カリキュラムの構築を進め、実験授業のパッケージ化を図る。

林業重機「フォワード」の無人運転化に関する研究 ―整地における無人自動運転化技術の確立― (R5～R7)

保坂響・浅川拓也・布施嘉裕（システム開発科）・中村卓（電子応用科）・小澤雅之・大地純平（森林総合研究所）・古屋五嗣・小幡俊郎（古屋製材㈱）

近年、気候変動の緩和や環境保全の観点から林業が重要視されているが、人材不足・高齢化・労働災害の多発が課題である。本研究では、林地から平地の拠点まで伐木を運搬する林業用重機「フォワード」の自動運転化を目指す。令和6年度には、整地環境下でのフォワード自動運転を実現に必要な、3D-LiDARとIMUを用いた自己位置推定手法を評価し、その結果、RTK-GNSSと同等の精度であることを確認した。さらに、クローラロボットによる整地環境下での自動運転を実現した。

③経常研究

宝石鑑別支援ツールの開発 (R5～R6)

佐藤貴裕（研磨・宝飾科）・中村卓（電子応用科）・宮川和博・佐野照雄（研磨・宝飾科）・笠原茂樹・小泉一人（(一社)宝石貴金属協会）・古屋正貴（日独宝石研究所）・高橋泰（宝石美術専門学校）・柳本力（協同組山梨県ジュエリー協会）

宝石の産地鑑別において、光学顕微鏡によるインクルージョン（内包物）の観察は有用な鑑別手法の一つである。本研究は、AIを用いて光学顕微鏡像からインクルージョンを自動検出・自動判別することが可能か検討した。今年度は300枚の顕微鏡像からインクルージョンを4つのクラスに分類・ラベリングし、YOLO v8で学習・評価した。その結果、いずれのクラスも再現率（Recall）は55～76%、適合率（Precision）は77～94%であった。また、画像数の少ないクラスに対して画像拡張を行ったところ、当該クラスのRecallおよびPrecisionのいずれも改善することがわかった。

AI検査に適した検査環境構築に関する研究 (R5～R6)

浅川拓也（システム開発科）・中村卓（電子応用科）・宮本博永（システム開発科）

近年、製造現場で不良品判定や異物混入検出にAI（AI：Artificial Intelligence）技術を導入する企業が増加している。これにより、省力化や人手不足の解消、生産性向上が期待されるが、AI導入には多くの課題がある。特に、十分な検査精度を得るための画像データ収集や適切な検査環境の構築が重要である。本報では、カメラの仕様、環境光が検出率に与える影響やハードウェアと処理速度を検証し、中小企業でも導入可能なAI技術の普及を目指した。検証結果として、カメラの仕様や環境光が検出率に大きな影響を与えることが確認された。

マグネシウム合金鋳造時の金型不具合に関する研究 (R5～R6)

鈴木大介・石田正文（工業材料科）・長田和真（企画・情報科）・佐野正明（管理・連携推進センター）

様々な分野で省エネルギー・脱炭素化が求められる中、実用金属の中で最も軽量であるマグネシウム合金製の部品が注目されている。マグネシウム合金は冷間での加工性が悪いことから、大量生産には鋳造やダイカストが適する。しかし、水や酸素と容易に反応して燃焼するというマグネシウム合金の性質から、金型への焼付き等が発生し、製造現場では課題となっている。そこで本研究では、金型表面に発生する不具合の低減・防止策を検討するため、不具合現象の再現を試み、その発生メカニズム等に関する知見を得ることを目的とした。本報では、金型表面処理や離型剤が金型不具合の発生状況に与える影響を調査するため、小規模なスケールで不具合を再現する方法で試験を実施した。

三次元座標測定機の定期管理方法についての研究 (R5～R6)

西村通喜・小松利安・早川亮・米山陽・雨宮敦・岩間貴司（機械技術部）

三次元座標測定機の測定誤差をユーザの立場で簡便に評価するため、複数水準の単純な空間二点間の距離を測定し、そのときの測定結果と二点間距離の真値との関係を統計的に解析し、三次元座標測定機の信頼性を推定する評価法を研究した。また、この評価法を検証するために製作した基準ゲージを用いて信頼性評価の実験を行った結果、取り上げた誤差因子に対する測定の信頼性を定量的に推定できることが明らかになった。この手法を用いて同じ三次元座標測定機を定期的に評価することで、経年変化や故障の変化が数値で判断でき、測定機の校正時期の目安にすることができると考えられる。

パラメトリックデザインの地場産業への活用に関する研究（R5～R6）

鈴木文晃・佐藤博紀・串田賢一（デザイン技術部）

本県の地場産業である宝飾品製造業で行われている3次元CADを用いたモデリングにおいて、製品デザインの高度化を目的としたパラメトリックデザイン（PD）手法活用について研究を行った。3次元CADのRhinoCeros上でPDを行うGrasshopperの機能を使用し、宝飾品モデリングへのPD手法の適用方法と有効活用する方法について検討と活用事例の開発を行った。その結果、モデリング作業の自動化、履歴編集による修正作業の軽減、複雑な形状のモデリング作業の省力化、デザイン展開の迅速化などの効果が得られ、付加価値の高い宝飾製品の開発促進につながることが確認できた。

デジタルジャカード技術を応用したテキスタイル開発（R5～R7）

秋本梨恵（技術支援科）・五十嵐哲也（繊維技術部）・吉村千秋（技術支援科）

本研究では、これまでに開発されたジャカード織物組織の生成に関する技術シーズを活用し、さらに近年の市場に要求されている高付加価値なテキスタイル開発につなげるため、技術の特徴である滑らかな階調変化を持つ柄表現に加えて、立体感や凹凸形状を付加した生地の開発に取り組む。本報では、緯糸の一部に伸縮糸を使用してデジタルジャカード表現に凹凸を付加する手法について検討を行い、画像によるジャカード表現と凹凸表現を組み合わせた新しい表情を持つ生地の試織を行った。

多軸ロボットの耐久試験への適用とその評価（R5～R6）

勝又信行（機械電子科）・萩原義人（機械電子技術部）・寺澤章裕（素材科）・古屋雅章（機械電子科）・望月陽介（素材科）・渡邊慧輔（機械電子科）

耐久試験などの繰り返し試験では、大きな力は必要とせずに動きだけを要求されることが多い。一般的な材料試験機や疲労試験機は、大きな力を発生させることは可能であるが、一軸方向の動きであるため、複雑な動きを再現することはできない。生産現場では、多軸の協働ロボットの導入が進み、複雑な動きを再現できることから、人手にかわり生産現場を支えている。この多軸ロボットは、大きな力を発生することは困難であるものの、複雑かつ細かな動きができる。この多軸ロボットを用いることで、主として動きが重要視される試験と荷重負荷の小さな試験が可能である。本年度は、冷熱衝撃試験、摩擦耐久試験、屈曲試験、繰り返し荷重試験への適用を試みた。

金属積層造形条件と造形物の機械的特性に関する研究（R5～R7）

寺澤章裕・望月陽介（素材科）・萩原義人（機械電子技術部）・勝又信行・古屋雅章・渡邊慧輔（機械電子科）・早川亮（機械技術部）・田中隆三・加納佳明・岩尾翔太（榑松浦機械製作所）・孕石泰丈（山梨大学）

金属積層造形の造形条件が造形物の機械的特性に与える影響を評価するため、PBF（Powder Bed Fusion）方式の金属 3D プリントにおいて、レーザの走査速度を変更（700 mm/s～1100 mm/s）して造形した造形物に対して、疲労試験及びシャルピー衝撃試験を、水平方向と積層方向の2方向について実施した。その結果、疲労試験では、水平方向と積層方向のいずれの方向においても、1100 mm/s の造形物で疲労強度が低下する傾向が確認できた。またシャルピー衝撃試験では、全体的に造形物の吸収エネルギーが展伸材よりも低下し、造形速度が速いほど吸収エネルギーも低い傾向が確認された。

醸造副産物の成分評価に関する研究（R6～R7）

尾形美貴・長沼孝多（食品酒類・バイオ科）

醸造過程で発生する副産物の有効活用は酒類業界の長年の課題であり、持続可能な開発目標（SDGs）の観点からもその活用が望まれている。そこで、従来の分析手法に加え、最新の分析機器を用いて酒粕の水溶性成分を網羅的に解析し、成分の評価を行った。酒粕試料（県内産 9 試料、県外産 1 試料）の水分、総酸および遊離アミノ酸量を従来法で分析した結果、総酸や有機酸量で成分や含有量に違いがあることが分かった。また、水溶性成分を LC/MS/MS を用いて定性分析した結果、100 成分以上が検出され、酒粕ごとに成分や含有量に違いがある傾向が認められた。それぞれの酒粕に特徴的な成分を定量することで、機能性等を訴求した酒粕の利用につながることが分かった。

次世代デバイス用材料評価のための簡便で広帯域な誘電率測定方法の研究 (R6～R7)

富永裕輝・木島一広・萩原茂・中村卓・小西啓史 (電子応用科)

広帯域の誘電率を測定する方法として同軸管法があるが、高精度に試料を加工する必要があり、測定が容易ではない。本研究では、試料を高精度に加工する必要が無くシート形状のまま測定可能な、新たな誘電率測定方法を開発する。そのために、今年度は、測定治具と誘電率計算手法について 2 つの要素技術の提案を行った。測定治具に高周波を給電する部分の反射を減らすために、形状の設計とシミュレーションを行い、実装評価用基板を作成し測定した。その結果、約 11 GHz までは、シミュレーション結果とほぼ一致し、反射を少なくすることができたが、それ以上の周波数になると、シミュレーション結果と測定結果が一致せず、反射が大きくなることがわかった。誘電率計算手法については、測定時間の短縮のためにパルス波入力による FDTD (Finite-Difference Time-Domain) 法を用いた新たな誘電率測定手法を検討した。

水素・燃料電池システムの電動アシスト自転車適用評価 (R6)

坂本智明・小松利安・岩間貴司 (機械技術部)・佐藤幸徳・雨宮章悟・平川文洋・金子洸三・秋山誠 (日邦プレジジョン㈱)

小型・軽量の燃料電池スタックを採用した電動アシスト自転車の開発には、耐久安全性を担保する再現試験方法を検討する必要がある。本研究では、実走行の振動測定結果を基にした振動試験による評価と CAE によるランダム振動応答解析を行うことで、使用環境に応じた寿命評価を行った。自転車走行時の振動測定結果から JIS 電動アシスト自転車試験方法に相当する加速度の振動試験により評価可能な加速度パワースペクトル密度分布を得た。また、CAE による拘束条件についても解析に必要な固有振動数の測定結果を実測で得ることで、実際に近い拘束条件により解析寿命評価を行うことが可能となった。

3D技術を活用した紙の立体漉きに関する研究 (R6～R7)

佐藤博紀・串田賢一・鈴木文晃 (デザイン技術部)・芦澤里樹 (化学・燃料電池科)

本県の伝統工芸産業分野の活性化及び新商品開発促進を目指し、デジタル技術を応用した簡易な立体漉き手法について検討を行った。その結果、3DCAD ソフト Rhinoceros とビジュアルプログラミング言語 Grasshopper を用いることで、これまで熟練の技術を必要とした立体漉きの型製作工程を簡略化することが可能となり、型表面のメッシュ形状の大きさにより、成形後の紙の離型性が向上し、メッシュ跡が目立ちにくいという知見が得られた。一方、漉き上がった紙の厚みは、型の開口率やメッシュの粗さといった形状のみで均一にコントロールすることは困難であり、紙原料の投入量や漉き取り時のバキュームによる真空度等で調整する必要があることが示唆された。

山梨県産主要醸造用ブドウの収穫時期がワイン品質に及ぼす影響 (R6～R7)

小松正和・佐藤憲亮・木村英生 (ワイン技術部)・恩田匠 (企画連携推進部)

山梨県産ワインの主要品種である「甲州」と「マスカット・ベリーA」について、慣行期を中心に早期から遅期まで 5 期の収穫時期を設定し、同一圃場から各原料ブドウを収穫し、果汁分析、試験醸造、製成ワインの成分分析を実施し、収穫時期がワイン品質に及ぼす影響を検討した。収穫時期により各種果汁成分値は変動し、製成ワインの色調や香味に影響を及ぼすことが確認された。

はっ水性の評価方法の検討 (R6)

塩澤佑一朗・金丸勝彦・望月威夫 (製品開発科)

繊維製品のはっ水度試験 (JIS L 1092:2009 スプレー試験) は、水を散布した生地の湿潤状態を、比較見本 (写真と解説) を基準にして 5 段階で評価する。この判定方法は目視によるものであるため経験が必要である。そこで判定方法として、生地湿潤状態における近赤外画像を取得・解析して定量化する手法を検討した。その結果、判定が比較的難しい 2～4 級の湿潤状態について、本手法による湿潤面積が参考となることがわかった。また、判定級とともに湿潤面積を記録することで品質管理に役立つと考えられる。

CNF複合樹脂の物性評価と射出成形手法の確立 (R6～R7)

古屋雅章・渡邊慧輔・勝又信行 (機械電子科)・寺澤章裕・望月陽介 (素材科)・萩原義人 (機械電子技術部)・芦澤里樹 (化学・燃料電池科)・尾形正岐 (企画・情報科)

パリ協定の目標である世界の平均気温上昇を産業革命前より 1.5℃抑えるためには、2050 年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロ (カーボンニュートラル) にする必要がある。中小企業もカーボンニュートラルに取り組むことが期待されているが、経済的・人材的・情報面の課題から具体的な対応が難しい状況である。そこで本研究

では県内プラスチック企業へのカーボンニュートラルへの取り組みの指標の一つとして、セルロースナノファイバー（CNF）複合樹脂を用いた射出成形技術の確立・普及を目的に検討を進め、本年度は射出成形条件の検討と成形品の特性について評価した。その結果、CNF 混合割合 5%および 10%での射出成形が行えることを確認した。また、屋外暴露試験による各試験片の色差や強度の経時変化について調査した結果、CNF の混合により特性に影響を与えていることが確認できた。

④競争的資金研究

難燃性マグネシウム合金ダイカストによる自動車用大型部材製造技術の開発（R4～R6）

鈴木大介・阿部治（工業材料科）・佐野正明（管理・連携推進センター）・三井由香里（総合相談・連携推進科）・長田和真（企画・情報科）・宮澤航平（化学・燃料電池科）・松本敏治（㈱戸畑製作所）・千野靖正（産業技術総合研究所）・行武栄太郎（茨城県産業技術イノベーションセンター）

地球温暖化問題の解決には二酸化炭素排出量の削減が重要である。自動車業界では燃費改善が最優先課題であり、車体の軽量化が重要なテーマである。マグネシウム合金は軽量で振動吸収性に優れるが、発火や耐食性の課題がある。本研究では難燃性マグネシウム合金の開発と 16 インチホイールの量産を目指し、ダイカスト鑄造技術を用いた。得られたホイールは VIA 規格を満たし、燃費試験でアルミニウムホイールより 1%以上の効率向上が確認された。耐食性試験では表面処理により腐食生成物の形成が抑制された。今後、他の研究機関との試験結果を基に、自動車業界への提案と実用化を目指す。

燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発事業/共通課題解決型基盤技術開発/燃料電池に関する電気化学的特性測定技術の研究開発（R2～R6）

三神武文・川本鉄平・加賀爪広・穴水弘一・平賀庸子・塩原敦（化学・燃料電池科）・山田博之（材料・燃料電池技術部）・宮川和幸（甲府技術支援センター）・技術研究組合 FC-Cubic

本研究は NEDO の燃料電池研究開発事業で実施された。この事業では燃料電池の材料開発とは別に、NEDO 事業での開発材料を評価する PEFC 評価解析プラットフォームを構築しており、その中で当センターは電気化学特性評価を担当した。開発された新規開発材料（主に電極触媒、電解質膜）を共通の MEA 発電評価方法で解析し、材料開発機関へ開発目標の達成度のフィードバックと、技術課題の改善方向を提示した。5 年間で 25 機関、177 の開発材料を評価し、多数の材料開発に貢献した。また共同実施者の FC-Cubic では、NEDO 事業で開発された材料を組み合わせた燃料電池の特性評価を行い、事業開始時と比べて燃料電池性能が大きく向上したことを示した。

2. 産業財産権の取得状況

(1) 産業財産権（県単独）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
特許	5948551 (H28/6/17)	2014-022852 (H26/2/7)	装身具用合金	宮川和博 有泉直子 望月陽介 鈴木文晃 清水 進
	6711983 (R2/6/2)	2015-232550 (H27/11/29)	光電界センサおよび電磁界計測装置	木島一広 萩原 茂 河西伸一 河野 裕 阿部 治 清水章良 中村 卓
	6716808 (R2/6/15)	2017-055305 (H29/3/22)	表示具と果実の生産方法	佐藤博紀 萩原栄揮 池田博彦 富田 晃
	6792108 (R2/11/10)	2019-569988 (H31/4/23)	光吸収発熱保温用複合体とその製造方法	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一郎
	6823824 (R3/1/14)	2016-171295 (H28/9/1)	マイクロ流体デバイス	山田博之 西村通喜 長田和真 阿部 治 尾形正岐 高尾清利
	6980238 (R3/11/19)	2020-88529 (H31/4/23)	光吸収発熱保温用複合体	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一郎
	7309143 (R5/7/7)	2019-057867 (H31/3/26)	ワックス模型の作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	7345773 (R5/9/8)	2019-057866 (H31/3/26)	ワックス模型及びその作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	7553017 (R6/9/9)	2020-176430 (R2/10/21)	手術器具	山田博之 阿部 治 西村通喜 高尾清利

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
特許	7629596 (R7/2/5)	2021-006211 (R3/1/19)	磁気バレル研磨方法	林 善永 宮川和博 小松利安 有泉直子 平晋一郎
実用 新案	3249878 (R7/1/9)	2024-3847 (R6/11/20)	ガス灯システム	八代浩二 佐野正明 宮川和幸 山田博之 阿部治 鈴木大介 深澤郷平 西村通喜
商標	5421791 (H23/7/1)	2011-001192 (H23/1/12)		五十嵐哲也 上垣良信
	6138451 (H31/4/19)	2018-165529 (H30/12/21)	URUSHINASHIKA	串田賢一
	6138452 (H31/4/19)	2018-165530 (H30/12/21)		串田賢一
	6278668 (R2/8/11)	2019-108323 (R1/7/25)		佐藤博紀
意匠	1578913 (H29/5/19)	2013-023371 (H25/10/4)	塗り絵用紙	串田賢一

(2) 産業財産権（共同出願）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	4444162 (H22/1/22)	2005-149471 (H17/5/23)	鋼材の熱処理方法および熱処理装置	八代浩二 清水誠司 鈴木大介	浅川熱処理(株) (株)丸真熱処理工業

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	5396579 (H25/11/1)	2007-530913 (H18/3/16)	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所
	6152520 (H29/6/9)	2014-094992 (H26/5/2)	ジャカード織物パターンの生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也 秋本梨恵	山梨大学
	6302696 (H30/3/9)	2014-025174 (H26/2/13)	マグネシウム合金の表面処理方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 坂本智明	権田金属工業(株)
	6306437 (H30/3/16)	2014-113615 (H26/5/31)	縦型成膜装置	萩原 茂 河野 裕 早川 亮 星野昌子	山梨大学 (株)中家製作所
	6746830 (R2/8/11)	2016-15779 (H28/1/29)	ジャカード織物多色織パターンの生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也	山梨大学
	7085731 (R4/6/9)	2018-042581 (H30/3/9)	発酵ゆば食品	小松正和 木村英生 佐藤憲亮	望月五夫
	7228139 (R5/2/15)	2019-86340 (H31/4/26)	白色革の製造方法	串田賢一 渡辺 誠	(有)レオン・インター ナショナル
	7399410 (R5/12/8)	2020-012516 (R2/1/29)	硬化性樹脂組成物、硬化体、セルロースナノファイバー材料、及びセルロースナノファイバー材料の製造方法	芦澤里樹	山梨大学
	7626984 (R7/1/28)	2020-173626 (R2/10/14)	耐水紙の製造方法および耐水紙	芦澤里樹	(有)山十製紙 身延町

(3) 産業財産権（海外特許）

種別	登録番号 (登録日)	登録国	名称	発明者	共有権者
特許	US7744965B2 (H22/6/29)	米国	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所

(4) 産業財産権出願中（県単独）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
特許	2023-042428 (R5/3/16)	2024-131900 (R6/9/30)	パンの製造方法、生地 of 製造方法、小麦粉焼成物の製造方法およびパン	樋口かよ 橋本卓也 長沼孝多 有泉直子 芦澤里樹
	2024-37447 (R6/3/11)	—	(公開まで名称非公表)	宮澤航平 芦澤里樹 上垣良信 花形 保
意匠	2024-23648 (R6/11/15)	—	鍋	串田賢一 大沼 敦

(5) 産業財産権出願中（共同出願）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	2022-079503 (R4/5/13)	2023-167941 (R5/11/24)	伸線加工方法及び銅線	長田和真 石田正文 鈴木大介 阿部 治 佐野正明 深澤郷平	(株)降矢技研
	2022-133714 (R4/8/25)	2024-030672 (R6/3/7)	マグネシウム合金の表面改質方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 鈴木大介	(株)グローバルマグネシウムコーポレーション

(6) 産業財産権出願中（海外特許）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	PCT/JP2024/ 004133 (R6/2/7)	WO/2024/ 190195 (R6/9/19)	磁歪部材及び磁歪部材の製造方法	望月陽介 八代浩二	住友金属鉱山(株)

3. 課題対応受託研究

企業が新技術・新製品の研究開発等を行う際に、実施が困難な課題について、専門知識を持つ職員が、センターの所有する設備や機器を利用し当該課題解決のために研究を行った。

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1	0	0	1	0	1	1	0	4

4. 業績発表

(1) 口頭発表(学会等)

題名	発表者氏名(所属)	発表学会名	会場	期日
耐候性試験機によるプラスチック材料の促進劣化試験と屋外暴露との相関性	尾形正岐（企画・情報科）	（一社）日本ゴム協会第163回環境劣化研究分科会	東部ビル	R6/4/19
Development of Molten Flame-Retardant Magnesium Alloy for Die-Casting	千野靖正（産業技術総合研究所）・行武栄太郎（茨城県産業技術イノベーションセンター）・佐野正明（管理・連携推進センター）・鈴木貴晴（ヤマハ発動機(株)）	81st Annual IMA World Magnesium Conference 2024	グランドハイアット福岡	R6/5/21
マルエージング鋼積層造形材の機械的性質及び熱処理特性	深澤郷平・石田正文・鈴木大介・（工業材料科）・萩原義人（機械電子技術部）・寺澤章裕（素材科）・佐野正明（管理・連携推進センター）・勝又信行・古屋雅章（機械電子科）	（一社）日本熱処理技術協会第97回(2024年春季)講演大会	東京工業大学 大岡山キャンパス	R5/5/27～28
ガス対策用エジェクタピン（ガス抜きピン）のガス排出効果について	阿部治（工業材料科）・水越彦衛（（株）道志化学工業所）・山田博之（材料・燃料電池技術部）・西村通喜（機械技術部）・古屋雅章（機械電子科）・長田和真（企画・情報科）	（一社）プラスチック成形加工学会第35回年次大会	タワーホール船堀	R6/6/20
山梨県産小麦ふすまを使用したパンの風味について	橋本卓也・樋口かよ・長沼孝多（食品酒類・バイオ科）・芦澤里樹（化学・燃料電池科）・有泉直子（食品酒類・研磨宝飾技術部）	（一社）日本食品保蔵科学会 第73回大会	ホテルコレクティブ 琉球大学 千原キャンパス	R6/6/29～ 6/30
AIによるインクルージョンの自動判別の可能性	佐藤貴裕（研磨・宝飾科）・中村卓（電子応用科）・宮川和博・佐野照雄（研磨・宝飾科）・有泉直子（食品酒類・研磨宝飾技術部）・笠原茂樹・小泉一人（宝石貴金属協会）・古屋正貴（日	2024年度 宝石学会（日本）講演会・総会	オーラム	R6/7/13
ピーニング加工したマグネシウム合金の残留応力挙動（第2報）	鈴木大介（工業材料科）・佐野正明（管理・連携推進センター）・三井由香里（総合相談・連携推進科）・西野創一郎（茨城大学）	（公社）日本材料学会第58回X線材料強度に関するシンポジウム	名城大学 ナゴヤドーム前 キャンパス	R6/7/18～19

題名	発表者氏名(所属)	発表学会名	会場	期日
日本産ブドウの特徴を活かした ビン内二次発酵法によるスパーク リングワインの開発	恩田匠（企画連携推進部）	(公社)日本食品科学工 学会第 71 回大会	名城大学 天白キャンパス	R6/8/29～31
大気圧熱水処理によるマグネシ ウム合金の耐食性向上技術の開 発（第 2 報）-ピーニング条件に よる表面活性化状況-	鈴木大介（工業材料科）・宮澤 航平（化学・燃料電池科）・佐 野正明（管理・連携推進センタ ー）・三井由香里（総合相談・ 連携推進科）	(一社)表面技術協会 第 150 回講演大会	北見工業大学	R6/9/12
大気圧熱水処理によるマグネシ ウム合金の耐食性向上技術の開 発（第 3 報）-ピーニング条件に よる耐食皮膜形成状況-	宮澤航平（化学・燃料電池科）・ 鈴木大介（工業材料科）・佐野 正明（管理・連携推進センタ ー）・三井由香里（総合相談・ 連携推進科）	(一社)表面技術協会 第 150 回講演大会	北見工業大学	R6/9/12
難燃性マグネシウム合金の耐食 性向上に関する研究(第 4 報)- ダイカスト鑄造した自動車部品 の耐食性評価-	佐野正明（管理・連携推進セン ター）・鈴木大介（工業材料 科）・宮澤航平（化学・燃料電 池科）・三井由香里（総合相談・ 連携推進科）	(一社)表面技術協会 第 150 回講演大会	北見工業大学	R6/9/12
マグネシウム合金の表面処理・耐 食性に関する研究開発事例につ いて	佐野正明（管理・連携推進セン ター）	(一社)日本マグネシウ ム協会第 24 回表面処理 分科会例会	機械振興会館	R6/10/22
林業用重機フォワーダの自動運 転に向けた 3 次元点群地図作成 と自己位置推定手法の適用と評 価 -クローラロボットを用いた 検証-	保坂響・浅川拓也・布施嘉裕（シ ステム開発科）・中村卓（電子 応用科）・小澤雅之・大地純平 （山梨県森林総合研究所）・古 屋五嗣・小幡俊郎（古屋製材 株）	ViEW2024 ビジョン技術 の実利用ワークショッ プ	パシフィコ横浜	R6/12/5～6
‘甲州’および‘デラウェア’を 用いたブレンド白ワインの香気 成分に各種オリ下げ剤が及ぼす 影響	佐藤憲亮・木村英生・小松正和 （ワイン技術部）・恩田匠（企 画連携推進部）	日本ブドウ・ワイン学 会 2024 札幌大会	北海道大学	R6/12/7
‘甲州’オレンジワインの糖分お よびフェノール含量がワイン品 質に及ぼす影響	小松正和・佐藤憲亮・木村英生 （ワイン技術部）・恩田匠（企 画連携推進部）	日本ブドウ・ワイン学 会 2024 札幌大会	北海道大学	R6/12/7
日本産ブドウの特徴を活かした ビン内二次発酵法によるスパーク リングワインの開発	恩田匠（企画連携推進部）	(公社)日本食品科学工 学会令和 7 年度関東支 部大会	東京大学	R7/3/8
F 薄膜の極低温合成と表面改質に 関する研究	菅野拓海・北原広貴・篠塚郷貴 （山梨大学）・寺澤章裕（素材 科）・佐藤哲也（山梨大学）	第 72 回応用物理学会春 季学術講演会	東京理科大学 野田キャンパス	R7/3/14～17

題名	発表者氏名(所属)	発表学会名	会場	期日
VB 法で育成した Fe-Ga 単結晶における熱処理の効果	泉聖志・大久保和彦・佐藤昌明 (住友金属鉱山(株))・望月陽介 (素材科)・八代浩二(成長産業推進課)	第 72 回応用物理学会春季学術講演会	東京理科大学 野田キャンパス	R7/3/14~17
垂直ブリッジマン (VB) 法による Fe-Ga 単結晶の磁歪特性均一化	神野宏太・泉聖志・大久保和彦・岩佐剛・北林健人(住友金属鉱山(株))・望月陽介(素材科)・八代浩二(成長産業推進課)	第 72 回応用物理学会春季学術講演会	東京理科大学 野田キャンパス	R7/3/14~17
SUS316L 材へのボールエンドミルによる超音波パニング加工ー第 3 報 ピックフィード方向の違いによる加工特性ー	清水毅・孕石泰丈・眞道夏輝(山梨大)・米山陽(機械技術部)・石黒輝雄(食品酒類・研磨宝飾技術部)・雨宮敦(機械技術部)	2025 年度精密工学会春季大会学術講演会	千葉工業大学 津田沼キャンパス	R7/3/17~19

(2) 口頭発表(その他)

題名	発表者氏名(所属)	発表会議名	会場	期日
鋳造マグネシウム合金における水酸化皮膜の形成と曲げ強度に及ぼすショットピーニング処理の影響	田村健人・西野創一郎（茨城大学大学院）・鈴木大介（工業材料科）	自動車技術会 2024 年春季大会	パシフィコ横浜	R6/5/23
RTK-GNSS を活用した林業用運搬重機フォワーダに関する自動運転システム開発の試み	保坂響（システム開発科）	第 20 回地域交流ワークショップ	ライトキューブ宇都宮	R6/5/29
レーザ PBF 方式金属 3D プリンターを活用した研究紹介と山梨県内における金属 3D プリンターの活用動向	萩原義人（機械電子技術部）	3D デジタル造形研修	北海道総合研究プラザ	R6/8/30
倣い測定における測定力の変動と測定精度への影響について	米山陽（機械技術部）	日本精密測定機器工業会 精密測定機器活用セミナー	東京ビッグサイト	R6/11/8
マグネシウム合金の耐食性向上技術	鈴木大介（工業材料科）	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 精密微細加工分科会／積層造形研究会	杉妻会館	R6/11/21～22
ワイン産業におけるブランド性の確立について	恩田匠（企画連携推進部）	山梨県ジュエリー協会 ミニ講座	ベルクラシック 甲府	R7/1/10
ユーザーの立場から将来の LabX 線に期待すること	鈴木大介（工業材料科）	日本材料学会 X 線材料強度部門委員会委員会 第 61 回 X 線材料強度に関する討論会	草津市民交流プラザ（フェリエ南草津）	R7/1/24
山梨県における日本酒製造用の麹の品質向上に関する技術普及	長沼孝多（食品酒類・バイオ科）	令和 6 年度食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	R7/2/14
スパークリングワイン製造法	恩田匠（企画連携推進部）	(独)酒類総合研究所ワイン製造技術セミナー	(独)酒類総合研究所	R7/3/10
日本ワインのブランド確立について	恩田匠（企画連携推進部）	甲府商工会議所 水晶宝飾部会・理財部会議員評議員懇談会	甲府商工会議所	R7/3/19
甲州オレンジワインの醸造技術に関する研究	小松正和（ワイン技術部）	第 7 回日本ワインの製造に関する技術情報交換会	(独)酒類総合研究所	R7/3/28

(3) ポスター発表(学会等)

題名	発表者氏名(所属)	発表学会名	会場	期日
ガス対策用エジェクタピン(ガス抜きピン)のガス排出効果について	阿部治(工業材料科)・水越彦衛((株)道志化学工業所)・山田博之(材料・燃料電池技術部)・西村通喜(機械技術部)・古屋雅章(機械電子科)・長田和真(企画・情報科)	(一社)プラスチック成形加工学会第35回年次大会	タワーホール船堀	R6/6/20
CMM スキャニング測定時における測定力の変動評価	米山陽(機械技術部)	(一社)日本計量機器工業連合会 DX活用推進を目的としたポスターセッション・技術セミナー・工業見学会	株式会社ミットヨ宇都宮事業所	R6/7/10~11
非接触3次元スキャナの測定誤差の把握と高精度測定手法の確立	萩原義人・寺澤章裕・望月陽介・古屋雅章(機械電子技術部)・米山陽(機械技術部)・鈴木大介(工業材料科)・佐藤博紀(デザイン技術部)・中村哲夫(客員研究員)	(一社)日本計量機器工業連合会 DX活用推進を目的としたポスターセッション・技術セミナー・工業見学会	株式会社ミットヨ宇都宮事業所	R6/7/10~11
ブドウ CNF の特性における前処理の効果	芦澤里樹(化学・燃料電池科)・塩澤佑一朗(繊維技術部)・宮澤航平・上垣良信(化学・燃料電池科)	セルロース学会第31回年次大会	くまもと森都心プラザ	R6/7/11~12
低アルコールウイスキー製造のための逆浸透膜の利用	尾形美貴・長沼孝多・兼坂匡人(食品酒類・バイオ科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)・久保田勇(萌木の村(株))・奥水精一(個人研究者)	日本農芸化学会関東支部2024大会	東京大学大学院農学生命科学研究科 弥生講堂 一条ホール	R6/8/30
ふすまを配合したパンの製造におけるセルロースナノファイバー添加の効果	樋口かよ・橋本卓也・長沼孝多(食品酒類・バイオ科)・芦澤里樹(化学・燃料電池科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)	日本調理科学会2024年度大会	鎌倉女子大学 大船キャンパス	R6/9/6~9/7
高寿命・高機能なダイカスト金型の開発に向けて	萩原義人(機械電子技術部)	JIMTOF2024 第32回日本国際工作機械見本市	東京ビッグサイト	R6/11/5~10
ダイカスト金型の高機能化に関する研究 ～高寿命・高機能なダイカスト金型の開発に向けて～	萩原義人(機械電子技術部)	TCT Japan 2025	東京ビッグサイト	R7/1/29~31
小麦ふすまに含まれる遊離アミノ酸が製パンに及ぼす影響	樋口かよ・橋本卓也・長沼孝多(食品酒類・バイオ科)	日本食品科学工学会関東支部大会	東京大学 弥生キャンパス	R7/3/8

(4) 学会誌等掲載

題名	発表者氏名(所属)	誌名	掲載巻・ページ
日本国内で製造されたスパークリングワインの特性解析	恩田匠（企画連携推進部）・佐藤憲亮・木村英生（ワイン技術部）	日本ブドウ・ワイン学会誌	Vol.35(1), pp. 3-12 (2024)
「健康志向のパン製造技術の開発」の取り組み	樋口かよ（食品酒類・バイオ科）	日本生活支援工学会誌	Vol.24 No.2 December p. 44 (2024)
「ルビーは先生」	佐藤貴裕（研磨・宝飾科）	宝石学会誌	Vol.38 No.4 p. 17(2024)
ピーニング加工したマグネシウム合金の残留応力形成挙動	鈴木大介（工業材料科）・佐野正明（管理・連携推進センター）・三井由香里（総合相談・連携推進科）・八代浩二（成長産業推進課）西野創一郎（茨城大学）	材料	73 巻 4 号 p. 300-305
耐候性試験機による照射と屋外暴露の相関性 -ポリプロピレンの劣化について-	尾形正岐（企画・情報科）・望月陽介（素材科）・古屋雅章（機械電子科）・寺澤章裕（素材科）・勝又信行（機械電子科）	プラスチック成形加工学会誌	Vol.36(7), pp299-305(2024)
射出成形における 3D 冷却管の効果	寺澤章裕（素材科）	プラスチック成形加工学会誌	Vol.37(3), pp. 102-105(2025)
Red 15Hz flickering light: a novel technique for effective wild bird management	本田剛（山梨県総合農業技術センター）・富永裕輝（電子応用科）・清水章良（企画・情報科）	European Journal of Wildlife Research	Vol.70 No.92 (2024)
鋳造用難燃性マグネシウム合金の開発	駒井浩（日本マグネシウム協会）・木皮和男（本田技術研究所）・鈴木貴晴（ヤマハ発動機）・阿部稔（東海理化）・松本敏治（戸畑製作所）・野坂洋一（グローバルマグネシウムコーポレーション）・千野靖正（産業技術総合研究所）・中津川勲（産業技術総合研究所）・行武栄太郎（茨城県産業技術イノベーションセンター）・佐野正明（管理・連携推進センター）	鋳造工学	96 巻 8 号 pp. 410-416(2024)

(5) 専門誌等掲載

題名	発表者氏名(所属)	誌名	掲載巻・ページ
日本ワインのおいしさ	恩田匠 (企画連携推進部)	青果物のおいしさの科学	pp. 522-530 (2024)
研究委員会の思い出	佐野正明 (管理・連携推進センター)	(一社) 型技術協会 金型品質評価研究委員会 研究委員会における活動、共同研究成果並びに金型寿命・評価研究の足跡 1991 年から 2024 年までの 33 年の歩み	p. 47 (2024)

人材育成業務

1. 出前技術講座

(1) 講座一覧

	講座	実施日	担当	受講者数
1	D&DEPARTMENT 産地ツアーレクチャー 「郡内地域の織物工業の歴史と成り立ち」	R6/4/10	繊維技術部	8
2	ここのがっこう 「coconogacco exhibition 2024 トークショー」	R6/4/13	繊維技術部	60
3	伝送ケーブルに必要な基礎知識	R6/5/10	電子応用科	7
4	金属材料の機械試験について	R6/5/24	工業材料科	13
5	山梨県立大学 PENTAS Yamanashi “地域仕事概論”「経営マインド」 URUSHINASHIKA-Koshu INDEN-	R6/5/28	デザイン技術部	15
6	山梨学院大学 やまなしの食 「甲州産ワインの歴史と特性」	R6/6/18	ワイン技術部	45
7	山梨県のワイン概況と産業技術センターの業務紹介	R6/6/21	ワイン技術部	22
8	山梨ジュエリー協会「商品開発のための情報収集、環境分析について／ファッション分野のサステナビリティに関する動向について」	R6/6/26	技術支援科	14
9	機械電子関係の研究紹介	R6/7/16	機械電子技術部	19
10	ここのがっこう マテリアル&マターコース 「織物とはなにか」	R6/7/20	繊維技術部	13
11	(一社) 日本繊維製品消費科学会サステナブルファッション研究 委員会「郡内織物の歴史と現在の取り組み」	R6/8/7	繊維技術部	26
12	産業技術センター・DX 実証フィールド紹介及び AI の基礎と実習	R6/8/28	システム開発科	6
13	寺子屋いいえん「デザインを基に、モノやコト、地域の豊かな経済循環を創る」	R6/9/7	デザイン技術部	66
14	医療機器産業技術人材育成講座 (山梨大学)「山梨県産業技術センターにおける機器設備等の紹介ー医療機器関連産業への支援ー」	R6/9/24	材料・燃料電池技術部	20
15	医療機器産業技術人材育成講座 (山梨大学)「山梨県産業技術センターにおける機器設備等の紹介ー3D スキャナ・3D プリンタによるデザイン支援ー」	R6/9/24	デザイン技術部	20

	講座	実施日	担当	受講者数
16	山梨英和大学 山梨学 「山梨ハタオリ産地の歴史とブランディング活動」	R6/9/30	繊維技術部	30
17	山梨大学ワインセミナー 「山梨のワイン」	R6/10/19	ワイン技術部	62
18	研究紹介及びデモンストレーション	R6/11/17	システム開発科	300
19	山梨大学 ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム 「日本ワイン学」	R6/11/26	ワイン技術部	26
20	産業技術センターで実施している研究について	R6/11/28	食品酒類・バイオ科	20
21	新バイオ素材セルロースナノファイバーの研究開発	R6/12/9	化学・燃料電池科	52
22	ステンレス鋼の腐食	R6/12/10	機械電子科	3
23	ビールのオフフレーバー	R6/12/17	食品酒類・バイオ科	44
24	表面処理研究会「気軽にはじめる IT 開発」	R6/12/19	化学・燃料電池科	11
25	表面処理研究会「医療機器開発と表面処理技術」	R6/12/19	化学・燃料電池科	11
26	山梨大学 AI 浸透化時代を見据えた高度デザイン人材育成プログラム「伝統産業のリデザイン」	R6/12/20	繊維技術部	20
27	FUJI TEXTILE MEETING 基調講演 「Introduction of Yamanashi Textiles」	R7/1/27	繊維技術部	45
28	visPIP・DX 実証フィールド紹介	R7/1/28	システム開発科	19
29	MBA ワインの特徴と現状	R7/1/31	ワイン技術部	35
30	山梨県立大学 PENTAS YAMANASHI VUCA 科目“地域のチャレンジ2” 「山梨ハタオリ産地の歴史とブランディング活動」	R7/2/7	繊維技術部	13
31	勝沼ワインゼミナール 「勝沼地区の各扇状地のブドウ果汁と委託醸造ワインの成分値について」	R7/3/16	ワイン技術部	83

※) 派遣先企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	-	64 (2講座)	332 (4講座)	107 (5講座)	0 (0講座)	101 (3講座)	273 (6講座)	229 (9講座)	22 (2講座)	1,128 (31講座)

2. ものづくり人材育成研修

(1) 通年

※受講者数内 () は、うちオンライン参加者数

講座名		講師	担当	実施日	受講者数
1	3D スキャンとリバースエンジニアリング	東京貿易テクノシ テム(株) 原田由佳 センター職員	デザイン技術部	R6/8/21	5
2	小型レーザー加工機でカスタム治具をつくる	センター職員	デザイン技術部	R6/8/28	3
3	テキスタイル製品の企画①	客員研究員 家安 香	繊維技術部	R6/9/3	5
4	テキスタイル製品の企画②	客員研究員 家安 香	繊維技術部	R6/9/4	5
5	3D プリンタの種類と特長を生かした活用	(株)ストラタシス・ジ ャパン 竹内翔一 アルテック(株) 佐野豪昭	デザイン技術部	R6/9/4	12 (8)
6	三次元表面粗さの基礎と非接触測定方法について	アメテック(株) 野中悠太郎	機械技術部	R6/9/26	1
7	赤外分光スペクトルの見方と解析	日本分光(株)	機械電子科	R6/10/10	3
8	オシロスコープの基礎	テレダイン・ジャパ ン(株) 辻嘉樹	電子応用科	R6/10/17	6
9	ひずみ測定の基礎	(株)東京測器研究所 東京営業所 主任 小林睦	工業材料科	R6/10/24	3
10	ノギス・マイクロメーターの基礎	センター職員	機械技術部	R6/11/22	6
11	電解及び無電解めっき実習	表面処理研究会 会長 花形保	化学・燃料電池科	R6/11/29	6

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	-	0 (0講座)	6 (1講座)	9 (2講座)	7 (2講座)	20 (3講座)	-	10 (2講座)	3 (1講座)	55 (11講座)

3. 県産ワイン・日本酒品質強化支援事業

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
ワイン技術部	ブランド力向上ネットワーク構築事業 先進地見学会	宮坂醸造(株) 富士見蔵 諏訪御湖鶴酒造場 シャトー・メルシャン 梶子 ワイナリー マンズワイン小諸ワイナ リー	R6/6/4～ 6/5	8
食品酒類・バイオ科	ブランド力向上ネットワーク構築事業 先進地見学会	宮坂醸造(株) 富士見蔵 諏訪御湖鶴酒造場 シャトー・メルシャン 梶子 ワイナリー マンズワイン小諸ワイナ リー	R6/6/4～ 6/5	7
	ブランド力向上ネットワーク構築事業 交流会 (勉強会) 「日本ウイスキー世界一への道」	サントリー(株) 名誉チーフブレンダー 奥水精一	R7/3/13	44
	評価技術者育成事業 評価技術セミナー(座学) 「走査電子顕微鏡の原理と解析事例の紹介 ～食 品の形態観察から異物分析まで～」	日本電子(株) 科学・計測機器営業本部 SI 販売促進室 Scanning 系グループ 中嶋香織	R7/3/19	10
	評価技術者育成事業 評価研修(実習) 「令和6年度導入備品 卓上型電子顕微鏡シス テムの使用法」	センター職員	R7/3/19	4

4. 講習会・研修会

(1) 講座一覧

企画連携推進部

講座名	講師	実施日	受講者数
グリーントランスフォーメーション(GX)勉強会	経済産業省 関東経済産 業局 斉藤 諒	R6/5/13	30

食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	食品技術講習会 「金精軒製菓の取り組みと今後の展望についてー 地産大豆 100%の大豆ミートとデリカッセン Koma を中心にー」 「食品製造業における失敗しない DX 推進ス テップとその事例」	金精軒製菓(株) 代表取締役 小野光一 (株)カミナシ マーケティング部 田島巧平	R7/2/21	47
研磨・宝飾科	分光蛍光光度計 分析セミナー	(株)島津製作所 分析計測事業部 祖父江和樹	R7/1/29	11

電子・システム技術部

※受講者数内 () は、うちオンライン参加者数

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
電子応用科	電子応用技術セミナーⅠ「EMC 対策の基礎とフェ ライトコアの適切な使用方法」	星和電機(株) 坂野卓也	R6/11/26	36
	電子応用技術セミナーⅡ「目視検査改善のススメ」	シーシーエス(株) ソリューション特任室 土肥和彦	R6/11/19	45
	電子応用技術セミナーⅢ「近接電磁界イミュニテ ィ試験の概要」	(株)テクノサイエンスジ ャパン 代表取締役 山田和謙	R7/2/25	12
システム開発科	電子技術講習会「信頼性試験の基礎と温湿度環境 試験」	エスベック(株) テストコンサルティング 本部 東日本試験グルー プ 有井一伸	R6/12/11	37 (16)
	情報技術講習会「画像識別のための AI 活用セミナ ー」	山梨大学 教授 小谷信司	R7/3/13	35

材料・燃料電池技術部

※受講者数内 () は、うちオンライン参加者数

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
工業材料科	新しい大型万能材料試験機の紹介	(株)島津アクセス 横浜支店 第2サービス課 難波丈統	R6/10/8	5
	新しい小型万能材料試験機の紹介	(株)エー・アンド・デイ 販売促進部 MCS 販売促進課 課長 上田光一	R7/1/16	14
	欧州の規制動向と自動車産業が受ける材料への影響について ー主にプラスチック材料を中心としてー	KPMG コンサルティング (株) スペシャリスト 伊藤登史政	R7/2/27	6
化学・燃料電池科	プラスチック成形不良の原因と対策	加藤技術事務所 加藤秀昭	R6/12/13	19
	表面処理関連の分析装置と分析事例およびめっき研究の紹介	長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門 化学部 主任研究員 永谷聡	R7/2/14	26 (21)

機械技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
精密機器における機械振動のトラブル対策	日本電子(株) 羽持 満	R7/3/7	27
VR 技術とゲームデザインを活用した機械操作の人材育成	山梨大学 教授 野田善之	R7/3/21	8

デザイン技術部

※受講者数内（ ）は、うちオンライン参加者数

講座名	講師	実施日	受講者数
トレンド・情報技術講習会 「コスト上昇時代の『価格転嫁』について」	山梨県よろず支援拠点 コーディネーター 勝 英樹	R6/6/6	10
やまなし産学官研究交流事業記念講演 「プロダクトデザインとその背景～山梨の可能性～」	客員研究員 大沼 敦	R6/10/23	80
デザイン技術講習会Ⅰ 「解像度を上げる ～成功に近づくためのトレーニング～」	東京大学 FoundX ディレクター (公財)国際文化会館 上席客員研究員 PEP ディレクター 馬田隆明	R7/2/28	14
デザイン技術講習会Ⅱ 「創造的な地域産業をつくる」	合同会社ツギ 代表/クリエイティブディレクター 新山直広	R7/3/7	31 (31)
セルロース技術講習会 「木の可能性 ～木材活用の動向について～」	(一社)全国木材組合連合会 常務理事 田口 護	R7/3/24	9

ワイン技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
山梨県ワイン鑑評会	センター職員ほか	R6/4/10	60
亜硫酸管理技術講習会	センター職員	R6/5/23	25
官能評価会（第1回）	センター職員	R6/6/19	25
官能評価会（第2回）	センター職員	R6/6/26	34
官能評価会（第3回）	センター職員	R6/7/3	20

繊維技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
製品開発科	繊維製品の循環を目指して～衣類廃材の現状とアップサイクル～	京都工芸繊維大学 名誉教授 木村照夫	R7/1/16	9

機械電子技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
スポーツ用義足の研究開発とアスリート支援	東京理科大学 先進工学部 機能デザイン工学科 准教授 保原浩明	R6/12/19	12
2040 年問題に挑む！リハビリ医学と産学連携のあり方	藤田医科大学東京 先端医療研究センター 准教授 森直樹	R6/12/19	12

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	30 (1講座)	58 (2講座)	165 (5講座)	70 (5講座)	35 (2講座)	144 (5講座)	164 (5講座)	9 (1講座)	24 (2講座)	699 (28講座)

5. 技術者研修

(1) テーマ一覧

研修テーマ	研修期間	受講者数	受入担当
1 織物基礎及び設計	R6/5/14～6/27 (14 日間)	8	繊維技術部
2 Adobe Photoshop Illustrator の技術習得	R6/5/24～5/31 (8 日間)	9	デザイン技術部
3 Adobe Photoshop Illustrator の技術習得	R6/6/17～8/8 (4 日間)	4	デザイン技術部
4 Adobe Photoshop Illustrator の技術習得	R6/7/24～8/5 (2 日間)	1	デザイン技術部
5 鏡面加工技術	R6/9/5～12/27 (5 日間)	1	機械技術部

※) 派遣元企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (件数)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	14 (3)	0 (0)	8 (1)	0 (0)	23 (5)

6. その他

高等学校課題研究サポート

県立吉田高等学校が実施する、同校理数科生徒を対象とした課題研究をサポートした。

○テーマ : 金属のつよさ

○実施日 : 令和6年7月29日、8月2日

○参加人数 : 2名

情報提供業務

1. 研究成果発表

- (1) 産業技術センター研究成果発表会（ハイブリッド配信）
 - ・公開日：令和6年9月3日
 - ・発表：26テーマ（口頭8、ポスター26）
 - ・特別講演
「カーボンニュートラル社会実現に向けたマグネシウムの自動車部品への適用事例と将来展望」
(株)グローバルマグネシウムコーポレーション 会長 野坂洋一 氏
 - ・企業の方によるセンター活用事例発表
「ワインのブランド確立（GI Katsunuma）のための勝沼地域のブドウ圃場の特徴解析」
勝沼ワイン協会 企画部会長 松坂浩志（マグヴィスワイナリー）氏
- (2) やまなし産学官連携研究交流事業
 - ・開催日：令和6年10月23日
 - ・会場：山梨県立図書館
 - ・動画配信：令和6年10月23日～令和7年3月31日
 - ・発表：9テーマ（令和5年度終了テーマ 口頭3、ポスター9、動画配信9）

2. 刊行物の発行

- (1) 研究成果速報
 - ・発行日：令和6年5月29日
 - （※HPへの掲載のみ）
- (2) 年報（令和5年度）
 - ・発行日：令和6年8月30日
 - ・発行部数：400部
- (3) 研究報告（令和5年度 第7号）
 - ・発行日：令和6年10月1日
 - ・発行部数：400部
- (4) センターニュース
 - ・発行部数：各1,500部
 - ① センターニュースVol.22
 - ・発行日：令和6年6月28日
 - ② センターニュースVol.23
 - ・発行日：令和6年11月29日
 - ③ センターニュースVol.24
 - ・発行日：令和7年2月28日
- (5) デザイン情報紙 DESIGN YAMANASHI Vol.62～67
 - ものづくりのアイデアの誘因を目的として、ポストカードの形式で情報紙を年間6回発行
 - ・発行日：令和6年4月～令和7年3月
 - ・発行部数：各1,600部

3. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行

- (1) センター利用の手引き：適宜発行
- (2) メールマガジン
 - ・発行回数：32回（No. 24-001～032）
 - ・内容：講習会・研修会案内、設備機器案内等

4. その他

- (1) ホームページによる情報提供
センターの研究や設備を紹介したプロポーザルページを作成：6回
(<https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>)
- (2) 甲斐絹ミュージアムホームページによる情報発信
郡内織物産地のルーツ、山梨県が誇る伝統織物『甲斐絹』を紹介
(<https://www.pref.yamanashi.jp/kaiki/>)
- (3) ブログ・フェイスブック「シケンジョテキ」による情報発信
富士技術支援センターに所蔵するビンテージテキスタイルをはじめ、産地企業の職人や技の魅力などを紹介
(ブログ <https://www.shikenjyo.blogspot.jp>)
(フェイスブック <https://www.facebook.com/シケンジョテキ-969866283101120>)
発信数：ブログ5回、フェイスブック6回

- (4) 公報・書籍・学会誌収集

区分	内容
書籍類	工学・デザイン専門誌（学会誌30、協会誌15、その他42 合計87種〔購入・寄贈〕） 工学・デザイン専門書（購入88冊、寄贈6冊 合計94冊）
研究報告	国・大学・公設試（40種）
各種情報	JIS、法規集（23種）、新聞（17種）、国・公設試ニュース、その他

- (5) YAMANASHI DESIGN ARCHIVEの運用
山梨県に伝わる過去の優れた物品の造形や模様、自然から得られる色彩、今に伝わる昔話・伝説を産業上で使用することのできるデザインソースとしてデジタル化して配信
(<https://design-archive.pref.yamanashi.jp/>)
 - ・掲載デザインソース数1,133点
(内訳：形状103点／模様367点／色彩148点／昔話505点／文字10点)
 - ・デザインソース使用実績 計49点

技術交流

1. 研究機関連絡会議

会議名	期日	会場	出席者		
第65回産業技術連携推進会議 総会	R7/1/21	オンライン	雨宮俊彦		
産業技術連携推進会議					
情報通信・エレクトロニクス部会					
第20回地域交流ワークショップ	R6/5/29	ライトキューブ宇都宮	保坂 響		
情報通信研究会	R6/10/10～11	愛媛県産業技術研究所	浅川拓也		
組込み技術研究会	R6/11/28	オンライン	布施嘉裕	保坂 響	
情報技術分科会 第17回音・振動研究会	R6/10/17～18	島根県産業技術センター	坂本智明		
		オンライン	小松利安		
製造プロセス部会					
表面技術分科会	R6/11/28～29	岡山県立図書館	宮澤航平		
精密微細加工分科会 総会・第64回精密微細加工研究会・第5回積層造形研究会	R6/11/21～22	杉妻会館	鈴木大介	寺澤章裕	
		オンライン	深澤郷平	早川 亮	古屋雅章
ライフサイエンス部会					
第34回デザイン分科会	R6/6/27～28	産業技術総合研究所北陸デジタルものづくりセンター	鈴木文晃		
第35回デザイン分科会	R6/10/25	オンライン	串田賢一	鈴木文晃	佐藤博紀
ナノテクノロジー・材料部会					
繊維分科会 関東・東北地域連絡会 総会	R6/5/24	オンライン	高尾清利	五十嵐哲也	
繊維分科会 総会	R6/6/20～21	福井市地域交流プラザ (AOSSA)	高尾清利		
繊維分科会 繊維技術研究会	R6/10/3～4	十日町商工会議所	望月威夫		
繊維分科会 デザイン研究会	R6/11/14～15	岐阜県産業技術総合センター	秋本梨恵		
高分子分科会	R6/10/31～11/1	地方独立行政法人北海道立総合研究機構本部	芦澤里樹	渡邊慧輔	
素形材分科会 総会	R6/11/5	オンライン	深澤郷平		
素形材分科会 担当者会議・工場見学	R6/6/19～20	産業技術総合研究所中部センター、新東工業(株)豊川事業所	石田正文	勝又信行	
素形材分科会 第20回鋳造技術研究会	R6/10/25	富山国際会議場	鈴木大介		
知的基盤部会					
計測分科会 形状計測研究会	R6/12/11～13	J:COM ホルトホール大分	米山 陽	望月陽介	
		オンライン	西村通喜	小松利安	早川 亮
			岩間貴司	雨宮 敦	寺澤章裕
			古屋雅章		
分析分科会及び知的基盤部会総会	R6/12/5～6	青森県観光物産館アスパム	佐藤貴裕	宮澤航平	
第28回電磁環境分科会及び第33回EMC研究会	R6/11/7～8	米子コンベンションセンター、鳥取県産業技術センター	富永裕輝		
電磁環境分科会 第22回関東甲信越静EMC研究交流会及びMTEP EMCパートナーグループ会	R7/2/7	東京都産業技術研究センター	小西啓史		
関東甲信越静地域部会					
企画調整分科会 (第1回)	R6/7/1	オンライン	恩田 匠		
企画調整分科会 (第2回)	R6/10/8	オンライン	恩田 匠		
企画調整分科会 (第3回)	R7/2/21	オンライン	恩田 匠		
第5回関東技術交流分科会	R6/8/28	栃木県産業技術センター	恩田 匠	清水章良	
関東技術交流分科会 (特別回) 第6回 産総研-先端技術開発型中堅・中小企業の交流会 水資源の利活用技術交流会	R6/10/17	産業技術総合研究所つくばセンター	恩田 匠		
第6回関東技術交流分科会	R6/11/14	神奈川県立産業技術総合研究所	恩田 匠	清水章良	
関東技術交流分科会第4回幹事会	R7/2/21	オンライン	恩田 匠		
関東甲信越静地域産業技術連携推進会議及び関東甲信越静地域部会合同総会	R6/10/30	東葛テクノプラザ	雨宮俊彦	尾形正岐	
首都圏公設試連携会議 (TKF)					
第64回首都圏公設試連携推進会議 (TKF)	R6/10/30	東葛テクノプラザ	雨宮俊彦	尾形正岐	
広域首都圏輸出製品技術センター (MTEP)					
第4回広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP) 連携会議	R6/10/30	東葛テクノプラザ	雨宮俊彦	尾形正岐	
公立鉦工業試験研究機関長協議会					
第97回公立鉦工業試験研究機関長協議会総会 (総会・視察)	R6/7/18～19	神奈川県立産業技術総合研究所、(株)アマダ	雨宮俊彦		
全国食品関係試験研究場所長会					
令和6年度第1回臨時総会	R6/7/12	書面開催	—		
令和6年度第2回定期総会および食品試験研究推進会議	R7/2/14	つくば国際会議場	石黒輝雄	長沼孝多	

会議名	期日	会場	出席者		
令和6年度関東甲信越地区食品醸造研究会	R6/7/26	オンライン	樋口かよ	佐藤憲亮	
第69回全国酒造技術指導機関合同会議	R6/10/10	中央合同庁舎4号館	小松正和		
地方公設試験研究機関金属AM技術担当者会議	R6/11/7	東京都立産業技術研究センター	萩原義人	寺澤章裕	

2. 学会等の会議

会議名	期日	会場	出席者	
(一社)日本ゴム協会第163回環境劣化研究分科会	R6/4/19	東部ビル	尾形正岐	
自動車技術会 2024年春季大会	R6/5/22～23	パシフィコ横浜	鈴木大介	
第31回FCDIC燃料電池シンポジウム	R6/5/23～24	タワーホール船堀	三神武文	川本鉄平
(一社)日本熱処理技術協会第97回(2024年春季)講演大会	R6/5/27～28	東京工業大学大岡山キャンパス	深澤郷平	
(一社)プラスチック成形加工学会第35回年次大会	R6/6/20	タワーホール船堀	阿部 治	
第32回品質工学研究発表大会 (RQES2024S)	R6/6/27	数理統計研究所	宮川和博	
(一社)日本食品保蔵科学会 第73回大会	R6/6/29～30	ホテルコレクティブ 琉球大学千原キャンパス	橋本卓也	
(一社)型技術協会 金型品質評価研究委員会	R6/7/5	工学院大学新宿キャンパス	佐野正明	
セルロース学会 第31回年次大会	R6/7/11～12	くまもと森都心プラザ	芦澤里樹	
2024年度宝石学会(日本)講演会・総会	R6/7/13～14	オーラム	佐藤貴裕	
(公社)日本材料学会第58回X線材料強度に関するシンポジウム	R6/7/18～19	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス	鈴木大介	
(公社)日本食品科学工学会第71回大会	R6/8/29～31	名城大学天白キャンパス	恩田 匠	
(一社)表面技術協会 第150回講演大会	R6/9/12～13	北見工業大学	佐野正明 宮澤航平	鈴木大介
第85回応用物理学会秋季学術講演会	R6/9/17～20	オンライン	芦澤里樹	
(一社)日本マグネシウム協会第24回表面処理分科会例会	R6/10/22	機械振興会館	佐野正明	
第65回電池討論会	R6/11/20～22	国立京都国際会館	三神武文 川本鉄平	大丸明正
電気加工学会全国大会(2024)	R6/12/5～6	イーグレひめじ	佐野正明	萩原義人
ViEW2024 ビジョン技術の実利用ワークショップ	R6/12/5～6	パシフィコ横浜	保坂 響	
日本ブドウ・ワイン学会2024札幌大会	R6/12/7～8	北海道大学	小松正和	佐藤憲亮
(一社)型技術協会 第13回型技術基礎講習会	R6/12/11	オンライン	佐野正明	
(公社)日本材料学会 第61回X線材料強度に関する討論会	R7/1/24	キラリエ草津	鈴木大介	
第49回溶接学会東部支部実用溶接講座	R7/2/5	本田技研工業(株) 埼玉製作所 寄居工場	宮川和幸	
(一社)型技術協会 第158回型技術セミナー	R7/2/12	工学院大学新宿キャンパス	鈴木大介	
(公社)日本食品科学工学会令和7年度関東支部大会	R7/3/8	東京大学	恩田 匠 樋口かよ	橋本卓也 小松正和
(一社)表面技術協会 第151回講演大会	R7/3/12～13	東京都市大学	宮澤航平	
第72回応用物理学会春季学術講演会	R7/3/14～17	オンライン	塩澤佑一朗	
	R7/3/17	オンライン	望月陽介	
2025年度精密工学会春季大会学術講演会	R7/3/17～19	千葉工業大学津田沼キャンパス	米山 陽	雨宮 敦
電気化学会第92回大会	R7/3/18～20	東京農工大学小金井キャンパス	三神武文	

3. 職員派遣

※中止・欠席は記載していません

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
産総研連携アドバイザー						
第1回地域連絡担当者会議	R6/5/30	(国研)産業技術総合研究所	オンライン	渡辺 誠	山田博之	萩原義人
第2回地域連絡担当者会議	R6/6/24	〃	〃	山田博之		
水資源の利活用技術交流会企画説明会	R6/7/11	〃	〃	山田博之		
産総研-先端技術開発型中堅・中小企業の交流会 水資源の利活用技術交流会	R6/10/17	〃	産業技術総合研究所つくばセンター	渡辺 誠		
産総研CA 山梨県内企業等訪問	R6/7/2	〃	県内企業	山田博之		
〃	R6/7/3	〃	〃	山田博之		
〃	R6/10/4	〃	〃	渡辺 誠	萩原義人	
〃	R6/11/7	〃	〃	山田博之		
〃	R6/11/25	〃	〃	山田博之		
〃	R6/11/29	〃	県内大学	佐野正明		
〃	R6/12/25	〃	県内企業	山田博之		
〃	R7/1/14	〃	〃	佐野正明		
DX型マッチング支援促進事業検討会議						
書面による意見聴取	R6/8	(公財)やまなし産業支援機構	書面会議	宮川和幸		
令和6年度戦略的市場開拓支援事業費補助金審査委員会	R6/6/上旬	(公財)やまなし産業支援機構	書面審査	佐野正明		
公益財団法人やまなし産業支援機構 令和6年度海外出願支援事業						
第1回審査委員会	R6/7/2	(公財)やまなし産業支援機構	甲府技術支援センター	佐野正明		
第2回審査委員会	R6/9/5	〃	アイメッセ山梨	佐野正明		
山梨みらいファンド事業審査会	R6/11/11	(公財)やまなし産業支援機構	甲府技術支援センター	西村通喜		
令和6年度 医療機器等試作品開発支援事業審査委員会	R6/11/20～12/6	(公財)やまなし産業支援機構	書面会議	山田博之		
公益財団法人やまなし産業支援機構 令和6年度中小企業・小規模企業振興基金助成事業審査委員会						
書面による審査	R6/8、R7/1	(公財)やまなし産業支援機構	書面審査	西村通喜	萩原義人	
公益財団法人やまなし産業支援機構 設備貸与事業						
第1回審査委員会	R6/4/25	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	布施嘉裕		
第2回審査委員会	R6/5/30	〃	〃	布施嘉裕		
第3回審査委員会	R6/6/28	〃	〃	布施嘉裕		
第4回審査委員会	R6/7/31	〃	〃	布施嘉裕		
第5回審査委員会	R6/8/30	〃	〃	布施嘉裕		
第6回審査委員会	R6/9/30	〃	〃	布施嘉裕		
第7回審査委員会	R6/10/31	〃	甲府技術支援センター	布施嘉裕		
第8回審査委員会	R6/11/29	〃	〃	布施嘉裕		
第9回審査委員会	R6/12/25	〃	〃	布施嘉裕		
第10回審査委員会	R7/2/4	〃	〃	布施嘉裕		
第11回審査委員会	R7/3/4	〃	〃	布施嘉裕		
一般社団法人山梨県発明協会						
選考委員会	R6/4/22	(一社)山梨県発明協会	甲府技術支援センター	佐野正明		
第1回理事会	R6/6/上旬	〃	書面開催	雨宮俊彦		
通常総会	R6/6/28	〃	甲府技術支援センター	雨宮俊彦		
第10回山梨県産業技術支援交流会2024	R6/10/3	(公社)日本技術士会	山梨県立図書館	恩田 匠		
第64回水晶彫刻新作展						
審査会	R6/11/5	山梨県水晶美術彫刻協同組合	甲府市役所	花形俊彦		
山梨県研究推進委員会						
第1回研究推進会議	R6/5/16	総合理工学研究機構	防災新館	雨宮俊彦		
第2回研究推進会議	R6/9/20	〃	甲府技術支援センター	雨宮俊彦		
第3回研究推進会議	R7/1/14	〃	〃	雨宮俊彦		
第1回研究推進会議WG会議	R6/4/25	〃	〃	佐野正明		
第2回研究推進会議WG会議	R6/9/4	〃	〃	佐野正明		
第3回研究推進会議WG会議	R6/12/19	〃	〃	佐野正明		
令和6年度山梨県試験研究機関研究発表技術表彰評価審査	R6/10/23	総合理工学研究機構	山梨県立図書館	雨宮俊彦		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
令和6年度工業系高校生基幹産業担い手育成事業連携推進委員会						
第1回推進委員会	R6/5/28	山梨県教育委員会	甲府技術支援センター	雨宮俊彦		
第2回推進委員会	R7/2/21	〃	〃	雨宮俊彦		
やまなしイノベーション創出事業費補助金						
令和6年度やまなしイノベーション創出事業費補助金(研究開発)検討会議	R6/6/19	成長産業推進課	甲府技術支援センター	恩田 匠		
	R6/7/25	〃	〃	恩田 匠		
令和6年度県民の日富士吉田会場						
オープニングセレモニー	R6/10/5	県民の日富士吉田会場実行委員会	富士山パーキング	高尾清利		
実行委員会総会	R6/5/30	〃	富士吉田合同庁舎	武川 守		
溶接技能者評価試験立ち合い	R6/4/13、5/11、6/15、7/13、/9/14、10/12、11/16、12/7、R7/2/15、3/15	東部地区溶接技術検定委員会	ポリテクセンター山梨	宮川和幸		
東部地区溶接技術検定委員会	R6/4/9、5/14、6/11、7/9、10/8、11/12、12/10、R7/2/12、3/11	(一社)日本溶接協会	日本溶接協会東部支部中央検定場	宮川和幸		
山梨県ジュエリーマスター認定制度						
第1回認定委員会	R6/4/26	産業振興課	山梨県宝石美術専門学校	花形俊彦		
第2回認定委員会	R5/7/26	〃	〃	花形俊彦		
第3回認定委員会	R6/9/26	〃	〃	花形俊彦		
第1回試験実施委員会	R6/7/12	〃	〃	宮川和博	佐野照雄	鈴木文晃
認定試験	R6/9/24	〃	〃	宮川和博	佐野照雄	鈴木文晃
認定試験	R6/9/25	〃	〃	佐野照雄		
山梨県原産地呼称日本酒管理委員会官能審査部会						
第22回	R6/4/12	山梨県酒造協同組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也	
第23回	R6/5/10	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也	
第24回	R6/7/19	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也	
第25回	R6/11/15	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也	
第26回	R6/12/13	〃	〃	長沼孝多	尾形美貴	橋本卓也
第27回	R7/1/17	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也	樋口かよ
第28回	R7/2/14	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第29回	R7/3/21	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也	
GI YAMANASHI 審査会						
第26回	R6/4/12	山梨県酒造協同組合・山梨県原産地呼称日本酒管理委員会	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也	
第27回	R6/5/10	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也	
第28回	R6/7/19	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也	
第29回	R6/12/13	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也	
第30回	R7/1/17	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也	
第31回	R7/2/14	〃	〃	尾形美貴	橋本卓也	
第32回	R7/3/21	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也	
令和6年度山梨県原産地呼称日本酒管理委員会	R6/毎月	山梨県酒造協同組合	書面開催	花形俊彦		
清酒貯蔵出荷管理技術相談(呑切)及び県産清酒統一銘柄推奨審査会	R6/7/26	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也	
令和6年東京国税局酒類鑑評会	R6/9/26	東京国税局鑑定官室	東京国税局鑑定官室	長沼孝多		
山梨県新酒鑑評会	R7/3/21	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也	
ロボコンやまなし2024						
第1回実行委員会	R6/6/26	ロボコンやまなし実行委員会	甲府技術支援センター	宮本博永	布施嘉裕	
第2回実行委員会	R6/10/29	〃	山梨県流通センター	宮本博永	布施嘉裕	
大会	R6/11/9	〃	〃	雨宮俊彦 布施嘉裕	河野 裕 浅川拓也	宮本博永 保坂 響
第3回実行委員会	R7/2/6	〃	甲府技術支援センター	宮本博永	布施嘉裕	
新任職員研修 フォローアップ研修先輩職員との座談会	R6/12/12	職員研修所	山梨県自治会館	布施嘉裕	渡邊慧輔	
医療機器産業技術人材養成講座ワーキンググループ(第1回)	R6/7/24	山梨大学	山梨大学 融合研究臨床応用推進センター	山田博之		
山梨医療機器研究会 交流会・院内展示会	R6/12/4	山梨医療機器研究会	山梨大学 医学部附属病院	山田博之		
医療機器産業技術人材養成講座修了発表会	R7/2/4	山梨大学 融合研究臨床応用推進センター	山梨大学 医学部 シミツクプラザ	山田博之	佐藤博紀	

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
医療機器産業技術人材養成講座						
グループディスカッション・中間発表	R6/9/24	山梨大学	山梨大学 融合研究臨床応用推進センター	山田博之	佐藤博紀	
医療機器製作実習	R6/10/24	〃	山梨大学 甲府キャンパスものづくり工房	山田博之	佐藤博紀	
修了式	R7/2/4	〃	山梨大学 医学部 シミツクプラザ	山田博之	佐藤博紀	
医療機器産業技術人材養成講座 事業化コース						
事業化促進に向けた機運醸成 経営戦略	R6/9/19	山梨大学	山梨大学 融合研究臨床応用推進センター	山田博之		
事業化向上の基礎 医療機器製造に関する要素技術	R6/10/24	〃	コワーキングスペースCROSS BE	山田博之		
事業化向上の基礎 事業化のポイント	R6/11/7	〃	コワーキングスペースCROSS BE	山田博之		
院内見学	R6/12/12	〃	山梨大学 医学部附属病院	山田博之		
閉講式	R6/12/12	〃	山梨大学 医学部 シミツクプラザ	山田博之		
山梨県溶接技術競技大会						
令和6年度 山梨県溶接技術競技大会	R6/6/8	(一社)山梨県鉄構溶接協会	ポリテクセンター山梨	雨宮俊彦 石田正文	山田博之 鈴木大介	阿部 治 深澤郷平
令和6年度 山梨県高等学校溶接競技会	R6/6/8	〃	〃	雨宮俊彦 石田正文	山田博之 鈴木大介	阿部 治 深澤郷平
外観審査会	R6/6/11	〃	〃	山田博之 深澤郷平	阿部 治	石田正文
曲げ審査会	R6/7/5	〃	〃	山田博之 鈴木大介	阿部 治 深澤郷平	石田正文
表彰委員会	R6/7/10	〃	山梨県鉄構会館	雨宮俊彦	山田博之	阿部 治
表彰式	R6/9/10	〃	〃	雨宮俊彦		
令和7年度キックオフ会議	R7/2/18	〃	〃	山田博之	阿部 治	
技能検定試験						
(金属熱処理 一般熱処理作業) 水準調整会議	R6/5/30	山梨県職業能力開発協会	中小企業人材開発センター	深澤郷平		
(金属熱処理 一般熱処理作業) 技能検定	R6/8/25	〃	〃	深澤郷平		
(めっき 電気めっき作業) 技能検定	R6/10/15、 11/11、R7/2/25	〃	県内企業	三神武文		
(パン製造 パン製造作業) 外国人技能実習制度における技能検定	R6/10/25、 R7/1/31、2/21	〃	県内企業	橋本卓也		
(パン製造 パン製造作業) 水準調整会議	R6/11/29	〃	中小企業人材開発センター	橋本卓也		
(パン製造 パン製造作業) 技能検定	R7/2/7	〃	甲府技術支援センター	橋本卓也	樋口かよ	
(機械製図 機械製図CAD作業) 水準調整会議	R6/11/29	〃	中小企業人材開発センター	小松利安		
(機械製図 機械製図CAD作業) 技能検定	R7/1/26、1/29	〃	県内企業	小松利安		
JIMTOF2024 精密測定機器・座標測定機セミナー	R6/11/8	日本精密測定機器工業会	東京ビッグサイト	米山 陽		
伝統工芸士認定事業実技試験	R6/10/3、10/7	甲州手彫印章	やまなし伝統工芸館	串田賢一		
やまなし世界遺産富士山フォトコンテスト審査会	R6/10/25	富士山保全・観光エコシステム推進グループ	防災新館	宮川理恵		
山梨県職員（行政【デザイン】）及び（学芸員【デザイン】）（一般任期付職員）選考採用試験第二次選考	R7/1/25	文化振興・文化財課	山梨デザインセンター	串田賢一		
美酒美県やまなしセミナー	R6/7/12	産業振興課	シャトレーゼホテル談露館	恩田 匠	木村英生	
ワイン品質審査会	R6/12/13	果樹試験場	果樹試験場	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
山梨有機ワイン基準研究会	R7/1/29	産業振興課	古名屋ホテル	木村英生	小松正和	
新任職員研修第7回行政課題研修「ワイン県×部局横断」	R6/9/6	職員研修所	甲州市勝沼市民会館	木村英生		
令和6事務年度全国市販酒類調査品質評価会	R7/2/19	東京国税局	東京国税局	小松正和		
酒類総合研究所 醸造技術講習会	R7/3/10	(独)酒類総合研究所	(独)酒類総合研究所	恩田 匠		
日本食品科学工学会令和7年度関東支部大会	R7/3/8	(公社)日本食品科学工学会関東支部	東京大学	恩田 匠		
勝沼ワインゼミナール	R7/3/16	勝沼ワイン協会	勝沼ぶどうの丘	木村英生	小松正和	
山梨県 大韓民国・忠清北道ワイン交流事業	R6/8/7～8/9	知事政策局国際戦略グループ	大韓民国 忠清北道	小松正和		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
第7回日本ワインの製造に関する技術情報交換会	R7/3/28	(独)酒類総合研究所	(独)酒類総合研究所	小松正和		
甲州市原産地呼称ワイン認証審査会						
審査会	R6/7/16	甲州市	勝沼ぶどうの丘	木村英生		
甲州市ワイン品質審査会						
第37回（白ワイン部門）	R6/6/11	甲州市	勝沼ぶどうの丘	佐藤憲亮		
第37回（赤、ロゼ、オレンジ、発泡ワイン部門）	R6/6/18	〃	〃	小松正和	佐藤憲亮	
令和6年度第1回ヌーヴォーワイン	R6/9/26	〃	〃	木村英生	小松正和	
令和6年度第2回ヌーヴォーワイン	R6/10/29	〃	〃	小松正和	佐藤憲亮	
第38回	R6/12/3	〃	〃	木村英生	佐藤憲亮	
Japan Wine Competition（日本ワインコンクール）						
第1回運営部会	R6/6/27	日本ワインコンクール実行委員会	ワイン技術部	木村英生	小松正和	
準備作業	R6/7/9	〃	アイメッセ山梨	木村英生 三科浩仁	小松正和 窪田 守	佐藤憲亮
審査会	R6/7/10～7/11	〃	〃	恩田 匠 佐藤憲亮	木村英生 三科浩仁	小松正和 窪田 守
表彰式	R6/8/30	〃	山梨県庁	恩田 匠	木村英生	
受賞ワインセミナー	R6/8/30	〃	山梨市民会館	恩田 匠 佐藤憲亮	木村英生	小松正和
第2回運営部会	R7/1/14	〃	ワイン技術部	小松正和		
合同会議	R7/3/4	〃	古名屋ホテル オンライン	恩田 匠 木村英生		
勝沼ワイナリーズクラブ品質審査会						
第70回勝沼ボトル品質審査会	R6/8/19	勝沼ワイナリーズクラブ	ワイン技術部	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
第71回勝沼ボトル品質審査会	R7/3/17	〃	〃	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
山梨大学 ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム						
第8回ワイン科学士認定委員会	R6/4/17	山梨大学	山梨大学	木村英生		
第1回推進委員会	R6/5/24～5/31	〃	書面開催	木村英生		
第16回山梨大学ワイン科学士認定証書授与式	R6/6/13	〃	山梨大学	雨宮俊彦	木村英生	
第2回推進委員会	R6/12/17	〃	〃	木村英生		
講義「日本ワイン学」	R6/11/26	〃	〃	木村英生		
第3回推進委員会	R7/3/5	〃	〃	木村英生		
地理的表示「山梨」審査会						
第108回	R6/4/16	山梨県ワイン酒造組合	山梨県地場産業センター	木村英生	小松正和	
第109回	R6/6/6	〃	〃	木村英生	小松正和	
第110回	R6/7/4	〃	〃	木村英生	小松正和	
第111回	R6/8/6	〃	〃	木村英生	小松正和	
第112回	R6/9/25	〃	〃	小松正和		
第113回	R6/10/24	〃	〃	木村英生	小松正和	
第114回	R6/12/10	〃	〃	木村英生		
第115回	R7/1/16	〃	〃	木村英生	小松正和	
第116回	R7/2/18	〃	〃	木村英生	小松正和	
第117回	R7/3/26	〃	〃	木村英生	小松正和	
「山梨ワイン産地確立推進計画」推進連絡会議						
第22回	R6/6/11	果樹・6次産業振興課	果樹試験場	木村英生	小松正和	
第23回	R6/8/29	〃	高冷地野菜・花き振興センター	木村英生	小松正和	
第24回	R7/3/27	〃	果樹試験場	木村英生		
小規模ワイナリー重点支援事業						
事業説明会	R6/7/17	山梨県ワイン酒造組合	山梨県地場産業センター	木村英生	小松正和	
事業報告会	R7/2/26	〃	〃	木村英生	小松正和	
第22回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～						
予備審査	R7/1/23	富士山憲章山梨県推進会議	富士山世界遺産センター	秋本梨恵		
本審査	R7/1/30	〃	〃	五十嵐哲也		
令和6年度 山梨県クリーニング師試験						
第1回試験委員会	R6/6/25	福祉保健部	防災新館	望月威夫		
第2回試験委員会	R6/10/25	〃	びゅあ総合	望月威夫		
第3回山梨の夏服普及推進協議会	R7/3	山梨県絹人繊維物工業組合	書面開催	雨宮俊彦		
山梨の夏服プロモーション業務委託先選定等委員会	R6/5	産業政策部	書面開催	五十嵐哲也		
フジヤマテキスタイルプロジェクト						
キックオフミーティング	R6/6/13	東京造形大学、産地織物企業	東京造形大学	五十嵐哲也	秋本梨恵	
発会式	R6/8/3	〃	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵	
講評会	R7/2/15	〃	FUJITHIMURO	五十嵐哲也	秋本梨恵	

4. その他会議

会議名	期日	会場	出席者		
産学官連携・国関連					
総合理工学研究機構					
第1回総合理工学研究機構研究員研修会	R6/8/21	森林総合研究所	関係職員		
第2回総合理工学研究機構研究員研修会	R6/11/5	果樹試験場	関係職員		
第3回総合理工学研究機構研究員研修会	R7/2/10	甲府技術支援センター	関係職員		
やまなし産学官連携研究交流事業	R6/10/23	山梨県立図書館	関係職員		
産業技術総合研究所					
令和6年度第2回地域連携担当者会議	R6/6/24	オンライン	中村 卓		
組合関連					
協同組合山梨県ジュエリー協会					
総会	R6/5/24	かいてらす	宮川和博		
理事会	R6/4/19	協同組合山梨県ジュエリー協会	宮川和博		
	R6/5/24	かいてらす	宮川和博		
	R6/7/1	協同組合山梨県ジュエリー協会	宮川和博		
	R6/8/2	〃	宮川和博		
	R6/10/7	〃	宮川和博		
	R6/11/5	〃	宮川和博		
	R6/12/2	〃	宮川和博		
	R7/2/3	〃	宮川和博		
	R7/3/13	〃	宮川和博		
新年互礼会	R7/1/10	ベルクラシック甲府	雨宮俊彦	恩田 匠	宮川和博
一般社団法人宝石のまち甲府会議外部団体連絡会議	R6/5/20	協同組合山梨県ジュエリー協会	宮川和博		
西桂織物工業協同組合 第52回通常総会	R6/5/20	西桂町産業会館	高尾清利		
都留機械金属工業協同組合 第53回通常総会	R6/5/18	ふるや	高尾清利		
富士吉田商工会議所 新年賀詞交歓会	R7/1/10	ハイランドリゾート&スパ	雨宮俊彦	渡辺 誠	
山梨県鉄構溶接協会 新年互礼会	R7/1/24	シャトレーゼホテル談露館	雨宮俊彦	山田博之	
富士吉田織物協同組合 第74回通常総代会	R6/5/28	富士技術支援センター	渡辺 誠		
山梨県絹人織織物工業組合 第59回通常総代会	R6/5/30	富士技術支援センター	高尾清利		
令和6年度山梨県菓子工業組合 通常総会（第87回定期総代会）	R6/5/29	地場産業振興センター	雨宮俊彦	長沼孝多	
一般社団法人山梨県機械電子工業会					
通常総会（表彰式・懇親会）	R6/6/20	ベルクラシック甲府	雨宮俊彦 武川 守	花形俊彦	宮川和幸
新春トップセミナー新年賀詞交歓会	R7/2/5	〃	雨宮俊彦	花形俊彦	高尾清利
山梨県ワイン酒造組合					
第70回通常総会	R6/6/18	山梨県地場産業センター	雨宮俊彦	木村英生	
意見交換会	R6/10/24	〃	雨宮俊彦	宮川和幸	木村英生
			小松正和		
山梨ワイナリー協会 第52回定時総会	R6/8/21	勝沼ぶどうの丘	雨宮俊彦	木村英生	
令和6年度山梨青年工業会定期総会・懇親会	R6/4/17	ジットプラザ甲府	雨宮俊彦		
その他					
令和6年度人材養成講座合同開講式	R6/4/16	山梨大学	雨宮俊彦		
一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター AREC・Fiiプラザ令和7年新春特別講演会・交流会	R7/1/23	オンライン	雨宮俊彦		
令和6年度「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」 成果報告会・閉講式	R7/2/13	山梨大学	宮川和幸		
やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会					
第1回ワーキンググループ合同会議	R6/5/22	山梨大学	恩田 匠		
第2回ワーキンググループ合同会議	R7/2/28	山梨大学	恩田 匠		
令和6年度ものづくり企業DX推進支援専門家派遣事業 情報共有会	R6/4/10	甲府技術支援センター	三井由香里		
	R6/5/8	オンライン	三井由香里		
	R6/6/5	甲府技術支援センター	三井由香里		
	R6/7/3	オンライン	三井由香里		
	R6/8/7	甲府技術支援センター	三井由香里		
	R6/9/4	オンライン	三井由香里		
	R6/10/2	甲府技術支援センター	三井由香里		
	R6/11/6	オンライン	三井由香里		
	R6/12/4	甲府技術支援センター、県内企業	恩田 匠	三井由香里	
	R7/1/8	オンライン	三井由香里		

会議名	期日	会場	出席者		
令和6年度中小企業サポート連携拠点会議	R6/4/16	防災新館	三井由香里		
	R6/5/21	書面開催	三井由香里		
	R6/6/18	オンライン	三井由香里		
	R6/7/16	書面開催	三井由香里		
	R6/8/20	オンライン	三井由香里		
	R6/9/17	書面開催	三井由香里		
	R6/10/15	オンライン	三井由香里		
	R6/11/19	書面開催	三井由香里		
	R7/1/21	書面開催	三井由香里		
	R7/2/19	書面開催	三井由香里		
中小企業サポート連携拠点事業 精密洗浄に関する情報交換会	R7/2/18	防災新館	佐野正明	三井由香里	
日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員会式典および祝賀会	R6/10/8	川崎日航ホテル	宮川和幸		
令和6年東京国税局酒類鑑評会 製造技術研究会	R6/10/29	東京国税局	長沼孝多	橋本卓也	
水素バーナー講習会	R6/12/20	甲府市環境センター	宮川和博		
NEDO「燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産業官連携研究開発事業/共通課題解決型基盤技術開発/電気化学的特性測定技術の研究開発」					
GL会議	R6/5/17、 8/23、12/13、 R7/3/14	オンライン	三神武文		
電気化学討議会	R6/6/20、 10/24、R7/2/27	オンライン	三神武文		
NEDO水素・燃料電池成果報告会2024	R6/7/18～19	パシフィコ横浜	三神武文	川本鉄平	
FCCJ基盤技術研究懇話会	R6/11/28～29	人材開発センター富士研修所	三神武文		
NEDO触媒表面修飾に関する座談会	R7/1/22	オンライン	三神武文		
2024年度 NEDO燃料電池・水素技術開発ロードマップ報告会	R7/2/4、3/5	オンライン	三神武文		
第16回 FC-Cubicオープンシンポジウム	R7/3/7	九州大学伊都キャンパス	三神武文		
ふじのくにセルロース循環経済国際展示会	R6/10/24～25	ふじさんメッセ大展示場	上垣良信	芦澤里樹	宮澤航平
第4回サステナブルマテリアル展	R6/10/29～31	幕張メッセ	古屋雅章	望月陽介	
第24回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議	R7/1/29～31	東京ビッグサイト	芦澤里樹		
ナノセルロースジャパン事業化推進分科会「地域分科会会議」	R7/3/10	甲府技術支援センター	雨宮俊彦	宮川和幸	山田博之
			上垣良信	芦澤里樹	宮澤航平
			古屋雅章	渡邊慧輔	
横浜市立大学 第1回 メディカル&ケアテック パートナリングカンファレンス	R6/8/1	オンライン	山田博之		
山梨医療機器研究会					
総会・第一回ミーティング	R6/6/10	山梨大学 融合研究臨床応用推進センター	山田博之		
第二回ミーティング	R6/9/25	〃	山田博之		
メディカル・デバイス・コリドー推進センター月次報告会	R6/5/20、 6/17、7/17、 8/19、9/18、 10/17、11/15、 12/18、 R7/1/22、 3/14、3/26	甲府技術支援センター	山田博之		
競争的資金研究（NEDO）「難燃性マグネシウム合金ダイカストによる自動車用大型部材製造技術の開発」					
電費試験立ち合い	R6/4/9～4/11	(一財)日本自動車研究所 (JARI)	鈴木大介	宮澤航平	
鋳造試験立ち合い	R6/4/24～26、 6/19～21	(株)戸畑製作所 戸畑開発センター	鈴木大介		
鋳造試験立ち合い	R6/11/20～22、 12/23～25	(株)戸畑製作所	佐野正明		
鋳造試験作成	R6/12/17～ 12/19	茨城県産業技術イノベーションセンター	鈴木大介		
第1回全体会議	R6/6/27	(株)戸畑製作所	佐野正明		
第2回全体会議	R6/10/4	日本マグネシウム協会	佐野正明		
第3回全体会議	R7/1/16	オンライン	佐野正明	鈴木大介	宮澤航平
			三井由香里		
第4回全体会議	R7/3/25	オンライン	佐野正明	鈴木大介	宮澤航平
燃費試験立ち合い	R7/2/21	(公財)日本自動車輸送技術協会 (JATA)	佐野正明	鈴木大介	
燃費試験立ち合い	R7/3/12	(公財)日本自動車輸送技術協会 (JATA)	佐野正明		

会議名	期日	会場	出席者		
デザインリテラシー向上セミナー	R6/9/20	ベルクラシック甲府	宮川理恵	串田賢一	鈴木文晃
			佐藤博紀		
いいえん寺子屋セミナー「デザインの力で社会を変える」	R6/11/2	山梨県立大学	鈴木文晃		
2024年度グッドデザイン賞 受賞祝賀会	R6/11/5	東京ガーデンシアター	宮川理恵		
山梨デザインセンター開所	R6/11/20	防災新館	雨宮俊彦	五十嵐哲也	宮川理恵
			串田賢一	鈴木文晃	佐藤博紀
山梨デザインセンタークリエイターネットワークキックオフイベント	R6/12/13	防災新館	串田賢一	佐藤博紀	
第7回日本ワインの製造に関する技術情報交換会	R7/3/28	酒類総合研究所	小松正和		
		オンライン	木村英生	佐藤憲亮	
山梨科学アカデミー交流大会	R6/5/29	ベルクラシック甲府	恩田 匠		
	R6/11/27	〃	恩田 匠		
大橋MWによる山梨県ワイン関係者向けセミナー	R6/11/7	ベルクラシック甲府	木村英生	小松正和	
有機JASに関するセミナー	R6/11/14	果樹試験場	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
第2回オーガニックワインに関する勉強会	R6/12/17	果樹試験場	木村英生	小松正和	
山梨有機ワインセミナー	R7/1/23	ベルクラシック甲府	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
ハタオリマチのハタ印会議					
グループ会議	R6/6/7	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵	
ハタオリマチのハタ印会議	R6/4/26、 6/14、8/23、 9/13	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵	
	R7/2/7	〃	秋本梨恵		
Bharat Tex2025	R7/2/14～17	Bharat Mandapam (インド)	秋本梨恵		
URA PROJECT EXHIBITION	R7/3/28	nadoya yoyogiuehara	秋本梨恵		

報道関係

1. テレビ等

	題目	名称等	年月日
1	やまなし NEXT “洗える和紙” は究極のエコ素材！「WASHIBLE」	山梨放送	R6/6/25
2	日本ワインコンクール過去最多 941 本が出品 香りや味わい審査	山梨放送	R6/7/10
3	日本ワインコンクール 941 本出品のなか山梨から 10 点が金賞	テレビ山梨	R6/7/31
4	きっかけデザインラジオ「郡内織物のルーツを発掘」①～④	YBS 山梨放送（ラジオ及びポッドキャスト）	R6/8/5～26
5	研究成果発表会	NHK 甲府放送局	R6/9/3
6	Creative Archives (DESIGN×STORIES)	NHK WORLD	R6/9/5
7	日本ワインコンクールについて	Tokyo FM	R6/10/6

2. 新聞・情報誌等

	題目	名称等	年月日
1	白ワイン「バランス良い」 甲州市で 96 銘柄を審査	山梨日日新聞	R6/4/10
2	甲府で日本ワインコンクール 出品 941 点を審査	山梨日日新聞	R6/7/11
3	日本ワインコンクール 金賞ワイン県内醸造 10 点 甲州部門で白百合最高賞	山梨日日新聞	R6/7/27
4	県産ワイン 120 点受賞 日本ワインコンクール 2024	読売新聞	R6/7/27
5	ワイン原料収穫期で分析 県技術センター 味、香り違い探る	山梨日日新聞	R6/8/27
6	8 テーマの研究 甲府で成果発表 県産業技術センター	山梨日日新聞	R6/9/7
7	CNF を利用した水・摩擦に強い和紙で出荷額回復、販路拡大に貢献	コンバーテック	R6/9/17
8	日本ワインコンクール 出品数過去最多・グランドゴールド賞を新設	月刊たる	R6/9/25
9	グラデーションと凹凸を両立 ジャカード織機に新技術 県産業技術センター 複雑な柄 立体表現可能	山梨日日新聞	R6/9/27
10	社会に新たな価値創造 デザインの必要性語る 西桂でフォーラム	山梨日日新聞	R6/10/5
11	Development of a New Washi with Enhanced Water and Abrasion Resistance	Convertech International	R6/10/31
12	文学の中の甲斐絹	民具マンスリー	R6/12/10
13	山梨ハタオリ初買い旅	トランヴェール	R7/1/1

職員の資質向上

1. 派遣研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
国立試験研究機関等			
電子・システム技術部 電子応用科 研究員 中村 卓	地域産業活性化人材育成事業	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	R6/10/2～11/1 (R6/10/2～ R7/3/31)
山梨大学との共同研究			
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 宮澤航平	時間分解ESR法を用いた各種機能性物質の光励起化学種の解明	山梨大学	通年
知的財産権研修			
企画連携推進部 企画・情報科 主任研究員 尾形正岐	令和6年度（初級）知的財産権研修（第2回）	(独)工業所有権情報・研修館（オンライン）	R6/11/11～11/13
中小企業支援担当者等研修			
ワイン技術部 研究員 佐藤憲亮	データを活用した支援の進め方	(独)中小企業基盤整備機構 関東本部 中小企業大学校東京校	R6/9/3～9/5
電子・システム技術部 電子応用科 研究員 富永裕輝 繊維技術部 製品開発科 研究員 塩澤佑一朗	公設試験研究機関研究職員研修	(独)中小企業基盤整備機構 関東本部 中小企業大学校東京校	R6/9/24～9/27
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 深澤郷平	伴走型支援のためのロジカルシンキング	(独)中小企業基盤整備機構 関東本部 中小企業大学校東京校	R6/9/25～9/27
基礎技術研修			
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 尾形美貴	化学物質管理者研修	中部安全衛生サービスセンター	R6/4/17
デザイン技術部 研究員 佐藤博紀	デザインリテラシー養成研修	多摩美術大学上野毛キャンパス	R6/5/11～7/13
ワイン技術部 部長 木村英生	酒類販売管理研修	山梨県小売酒販組合連合会 甲府市総合市民会館	R6/5/15
ワイン技術部 部長 木村英生	食品衛生責任者養成講習	(一社)山梨県食品衛生協会 e-ラーニング	R6/5/27～6/26
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 佐藤貴裕	第一種衛生管理者受験準備講習および免許試験	山梨県立中小企業人材開発センター アイメッセ山梨	R6/6/10～6/11、 7/17、8/26
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 鈴木大介	普通第一種圧力容器取扱作業主任者技術講習	(一社)日本ボイラ協会東京支部	R6/6/10
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 橋本卓也	保護具着用管理責任者研修	山梨県立中小企業人材開発センター	R6/6/25
企画連携推進部 企画・情報科 主任研究員 尾形正岐	化学物質管理者専門の講習に準ずる講習	山梨県立中小企業人材開発センター	R6/6/26

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
機械技術部 主任研究員 小松利安 主幹研究員 早川 亮 主任研究員 米山 陽 専門員 岩間貴司	特定粉じん作業特別教育	山梨県立中小企業人材開発センター	R6/8/23
ワイン技術部 部長 木村英生	甲種防火管理新規講習	一般財団法人日本防火・防災協会 山梨県自治会館	R6/9/24～9/25
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 主任研究員 三神武文	危険物取扱者保安講習	(一社)山梨県危険物安全協会 (オンライン)	R6/10/3～11/2
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 主任研究員 上垣良信	化学物質管理者専門的講習に準ずる講習	山梨県立中小企業人材開発センター	R6/10/11
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 深澤郷平	機械研削盤のといし取替え・試運転の 業務特別教育	(公社)静岡県労働基準協会連合会 (会場：ポリテクセンター静岡)	R6/12/17～12/18
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 深澤郷平	FE-SEM標準コース	日本電子(株)	R7/2/12～2/14
県内民間企業研修 ものづくり研修			
電子・システム技術部 システム開発科 技師 浅川拓也	ものづくり研修	(株) ヴァックシステムズ	R6/10/21～ 10/22、10/30～ 11/1
電子・システム技術部 電子応用科 技師 小西啓史	ものづくり研修	(株) 中家製作所	R7/1/21～1/23、 3/4～3/5

2. その他研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
職員	GX勉強会 カarbonニュートラルと地域企業の対応	(国研)産業技術総合研究所 (オンライン)	R6/5/13
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 鈴木大介 化学・燃料電池科 研究員 宮澤航平	2024年度 第1回NEDO特別講座 マルチマテリアル構造技術ー 非鉄軽量材料(A1, Mg, CFRP)に関する信頼性評価ー	(国研)産業技術総合研究所中部センター	R6/6/26～27
繊維技術部 製品開発科 研究員 塩澤佑一朗	はっ水性試験の新規評価技法について (TKFミニインターンシップ)	東京都立産業技術研究センター	R6/9/10
繊維技術部 技術支援科 主任研究員 秋本梨恵	テキスタイルカレッジ「組物」	(一社)日本繊維機械学会 (オンライン)	R6/10/9
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 宮澤航平	(一社)表面技術協会 秋季セミナー「難処理材へのめっき技術」	(一社)表面技術協会 (オンライン)	R6/10/23
繊維技術部 技術支援科 主任研究員 秋本梨恵	小型レピアサンプル織機の活用方法 (TKFミニインターンシップ)	茨城県産業技術イノベーションセンター 繊維高分子研究所	R6/11/29
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 佐藤貴裕 会計年度任用職員 相原優子 会計年度任用職員 鶴田裕太 材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 鈴木大介 主任研究員 深澤郷平 機械技術部 主任研究員 小松利安 主幹研究員 早川 亮 主任研究員 米山 陽 専門員 岩間貴司 研究員 坂本智明 機械電子技術部 機械電子科 主幹研究員 勝又信行	研削といしの取替え等の業務に係る特別教育 (自由研削)	(一社)山梨県労働基準協会連合会 (会場: 中小企業人材開発センター)	R7/3/6
ワイン技術部 主任研究員 小松正和	ワークショップ「オレンジワイン」	日本ワイナリー協会	R7/3/14

学会・協会等からの表彰

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
マスト発酵中のカルボニル化合物について	日本醸造協会	技術賞	渡辺正平 乙黒親男 加々美久	S56/9/10
酸素吸収剤による食品の鮮度保持技術とその評価	日本包装技術協会	優秀包装文献賞	小宮山美弘	S60/6/14
スモモ果実の品質保持及び利用に関する生化学的研究	日本食品工業学会	研究奨励賞	小宮山美弘	S61/4/18
スモモ果実の成熟、貯蔵、利用における成分特性とその挙動に関する研究	日本果汁協会	技術賞	小宮山美弘	S63/6/10
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勘助）	(社)溶接協会	溶接技術奨励賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H1/4/24
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勘助）	平成6年度関東地方発明表彰	関東通商産業局長賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H6/10/20
ツーピース	第32回全国繊維技術展	通商産業省生活産業局長賞	ニット・縫製科	H6/10/30
ニットスーツ	第32回全国繊維技術展	技術振興賞	ニット・縫製科	H6/10/30
形状モデリングシステム	ニコグラフ展	プロセス賞	清水誠司 河西伸一 平川寛之 萩原 茂 阿部正人 井上陽介	H6/11/15
小ウメ果実の塩蔵中における硬度保持機構に関する研究	日本食品保蔵科学会	学会賞	乙黒親男	H7/6/3
ブドウ酒の膜利用製造法	全国食品関係試験研究場所長会	平成8年度優良研究・指導業績表彰	荻野 敏	H8/6/5
梅漬けの硬度保持機構とその製造技術の開発	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	乙黒親男	H8/6/5
婦人ニットキュロットスーツ	第34回全国繊維技術展	工業技術院賞	ニット・縫製科	H8/6/19
表面処理金型鋼の残留応力に及ぼす熱サイクルの影響	日本ダイカスト協会	小野田賞	日原政彦 八代浩二 佐野正明 増沢隆久	H9/5/22
スモモ果実の高温下での品質保持に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	辻 政雄	H9/5/24

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
ワッシャー加工婦人アンサンブル	第36回全国繊維技術展	工業技術院物質工学工業研究所長賞	ニット・縫製科	H10/10/26
セラミックスと活性金属ろうとの接合界面挙動解析	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	斎藤 修	H11/11/29
Influence of re-nitriding for thermal fatigue properties on nitrided hot work die steel	2001 DENVER X-RAY CONFERENCE XRD Poster Award	Poster Award	八代浩二 佐野正明 日原政彦 倉元眞實	H13/8/1
ICP-MS、CVおよびEQCM法を用いた極微量アトーム触媒の析出状態	(社)表面技術協会	平成14年度表面技術協会進歩賞	有泉直子	H14/2/27
高速ツーリング焼きパメ用誘導加熱装置 (MEGA HEATER)	(財)あさひ中小企業財団・(株)日刊工業新聞社	第14回中小企業新技術・新製品賞	橋田鉄雄	H14/6/10
食品の品質管理への近赤外分光分析法の応用に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	恩田 匠	H14/6/28
耐食性貴金属素材及びその製造方法とその貴金属製品	全国中小企業団体中央会	奨励賞	中山信一 佐野照雄 宮川和博	H14/9/27
ラビッドプロトタイピングによる義肢ソケットの直接造形	第4回日本福祉工学会	論文賞	萩原 茂 河西伸一 石田正文 清水誠司 木島一広 大柴勝彦	H14/11/30
山梨県の新しいデザイン産業・ビジネスモデルづくり	(財)日本産業デザイン振興会	新領域部門グッドデザイン賞	工業技術センター	H15/10/30
レーザリソグラフィを用いた模型の造形装置	(社)発明協会	平成15年度関東地方発明表彰山梨県知事賞	萩原 茂	H15/11/5
安全かつ高品質味噌醸造のための微生物学的解析とバクテリオンシン産生乳酸菌に関する研究	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	恩田 匠	H18/5/29
フォトリソグラフィとアノード酸化を利用したAl薄膜の表面加工	(社)表面技術協会	平成20年度表面技術協会進歩賞	勝又信行	H20/2/27
甲州種ワインの高品質化に関する研究	全国食品関係試験研究場所長会	平成19年度優良研究・指導業績表彰	原川 守	H20/3/6
宝石の精密加工方法の考案	文部科学省	平成21年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	坂本正純	H21/5/27
3次元アルミニウムマスクを用いたシリコン基板の反応性イオンエッチング加工技術の開発	日本真空協会	第35回真空技術賞	勝又信行 石田正文	H22/11/5
ワイン醸造工程における炭酸ガス使用手法の改善	文部科学省	平成24年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	中山忠博	H24/4/17

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
大型高強度溶接ペロローズの開発等	(一社)溶接学会	平成23年度溶接技術普及賞	宮川和幸	H24/5/18
高品質な国産赤ワインの製造方法の開発	全国食品関係試験研究場所長会	平成25年度優良研究・指導業績表彰	恩田 匠	H26/2/28
山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築	日本デザイン学会	第62回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞	佐藤博紀	H27/6/25
瓶内二次発酵法によるスパークリングワイン製造についての技術情報普及および基礎的研究	日本ブドウ・ワイン学会	技術賞	恩田 匠	H28/11/26
金型鋼の耐熱疲労特性評価をはじめとしたX線応力測定技術の素形材産業への展開	日本材料学会	平成28年度日本材料学会X線材料強度部門委員会業績賞	八代浩二	H29/1/27
天然素材のパナジウム媒染による機能化に関する研究	山梨県総合理工学研究機構	平成30年度Y-CROST研究奨励賞	上垣良信	H31/3/18
山梨県における県産小麦と県産パン酵母に関する研究開発とその普及	全国食品関係試験研究場所長会	令和元年度優良研究・指導業績表彰	木村英生	R2/2/13
日本のスパークリングワイン製造に関する研究	日本醸造協会	日本醸造協会技術賞	恩田 匠	R2/10/12
燃料電池に関する一連の研究とその成果の企業支援への展開	山梨県総合理工学研究機構	令和2年度Y-CROST研究奨励賞	三神武文	R3/2/5
X線材料強度部門委員会運営と活性化への貢献	日本材料学会	令和2年度日本材料学会X線材料強度部門委員会功労賞	八代浩二	R3/2/19
ワインをはじめとする県産農産物加工品の品質向上と開発	山梨県総合理工学研究機構	令和3年度Y-CROST研究奨励賞	小松正和	R4/2/14
ブドウ由来等のセルロースナノファイバーを基盤とした高付加価値製品及び新素材開発	山梨県総合理工学研究機構	令和5年度Y-CROST研究奨励賞	芦澤里樹	R6/2/13
日本産ブドウの特徴を活かしたビン内二次発酵法によるスパークリングワインの開発	日本食品科学工学会	令和6年度技術賞	恩田 匠	R6/8/29
甲州オレンジワインの醸造技術に関する研究	日本ブドウ・ワイン学会	技術賞	小松正和 佐藤憲亮 木村英生 恩田 匠	R6/12/8
切削加工技術の高付加価値化に関する研究と技術支援への取り組み	山梨県総合理工学研究機構	令和6年度Y-CROST研究奨励賞	米山 陽	R7/2/10
山梨県における日本酒製造用の麹の品質向上に関する技術普及	全国食品関係試験研究場所長会	令和6年度優良研究・指導業績表彰	長沼孝多	R7/2/14

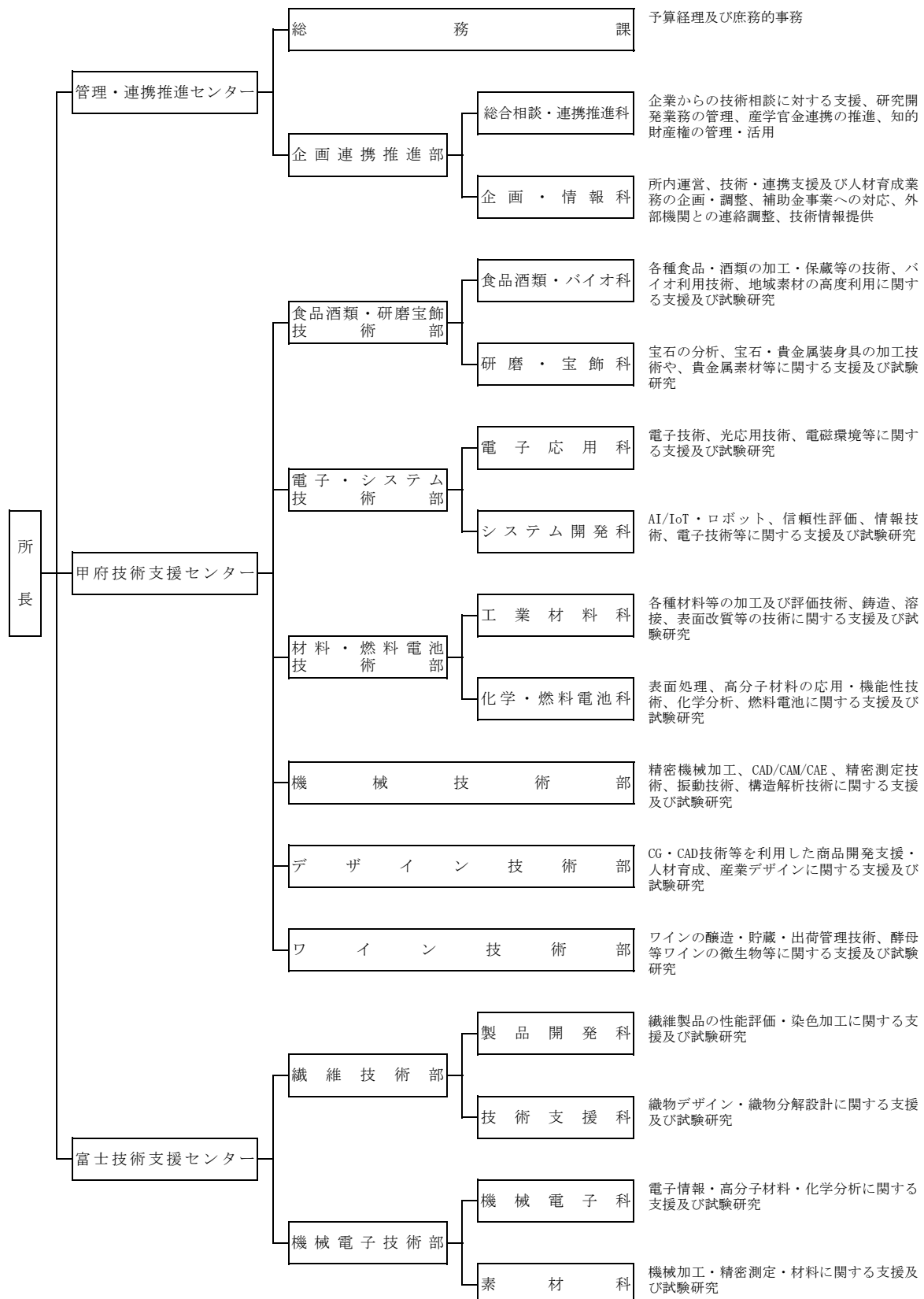
加入学会・協会等

学会・協会名	所在地	電話番号
(一社)山梨県発明協会	山梨県甲府市大津町2192-8 アイメッセ3階	055-243-6145
(公社)日本農芸化学会	東京都文京区弥生2丁目4番16号 学会センタービル2階	-
(公財)日本醸造協会	東京都北区滝野川2-6-30	03-3910-3853
(一社)溶接学会	東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地 溶接会館6F	03-5825-4073
(公社)日本分析化学会	東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304	03-3490-3351
日本工芸技術協会	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-2-3-402 (財)工芸財団内	03-3356-4966
(一社)日本色彩学会	東京都杉並区阿佐谷南1-16-9 平野ビル3階	03-5913-7079
(一社)KEC関西電子工業振興センター	京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2	0774-93-4563
(公社)日本食品科学工学会	茨城県つくば市観音台2-1-12 農研機構 食品研究部門内	-
全国食品関係試験研究場所長会	茨城県つくば市観音台2-1-13 農研機構 食品研究部門内	-
(公社)日本ジュエリーデザイナー協会	東京都中央区八丁堀4-11-7 アライビル6F	03-3523-7344
(公社)日本インダストリアルデザイン協会	東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F	03-3587-6391
(公財)日本デザイン振興会	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F	-
ASEV 日本ブドウ・ワイン学会(アメリカ・日本)	山梨県甲府市北新1丁目13-1 山梨大学ワイン科学研究センター内	-
(公社)砥粒加工学会	東京都新宿区百人町2-22-17 セラミックスビル4F	03-3362-4195
宝石学会(日本)	東京都台東区上野3-20-8 小島ビル	-
(一社)繊維学会	東京都品川区上大崎3-3-9-208	-
(一社)日本繊維製品消費科学会	大阪府大阪市北区天満橋2-2-7-403	06-6358-1441
(一社)日本繊維機械学会	大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6F	06-6443-4691
(公社)日本木材加工技術協会	東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル	03-3816-8081
(一社)日本熱処理技術協会	東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館6階	03-6661-7167
(一社)日本非破壊検査協会	東京都江東区亀戸2-25-14 京成亀戸ビル10階	03-5609-4011
(一社)型技術協会	神奈川県横浜市中区太田町6-79 アブソルート横浜馬車道ビル201	045-224-6081
(公社)日本鑄造工学会	東京都港区芝浦4-15-33 芝浦清水ビル2F	03-6809-2303
(公社)日本金属学会	宮城県仙台市青葉区1番町1丁目14番32号 フライハイトビル2F	022-223-3685
(一社)表面技術協会	東京都千代田区神田岩本町4番地9 トウルム神田2F	03-3252-3286
(公社)高分子学会	東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F	03-5540-3770
(公社)精密工学会	東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F	03-5226-5191
(一社)電気加工学会	東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル	03-5291-6231
(一社)日本機械学会	東京都新宿区小川町4番1号 KDX飯田橋スクエア2階	-
(一社)日本デザイン学会	東京都杉並区西荻北3-21-15 ベルフォート西荻703	03-3301-9318
NPO法人ヒューマンインタフェース学会	京都府京都市下京区中堂寺栗田町93番地 京都リサーチパーク6号館3階	075-315-8475
(一社)日本人間工学会	東京都新宿区若葉1-10 大洋ビル4C	03-6380-6730
日本感性工学会	東京都中央区日本橋浜町2-55-5 グランドハイツ1003	03-3666-8000
(公社)日本化学会	東京都千代田区神田駿河台1-5	03-3292-6161
(一社)プラスチック成形加工学会	東京都品川区大崎5-8-5 グリーンプラザ五反田第2 205号室	03-5436-3822
(公社)応用物理学会	東京都文京区根津1-21-5 応物会館2F	03-3828-7721
(一社)電気学会	東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZONビル8階	03-3221-7312
(一社)芸術科学会	東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部情報科学科	-

(令和7年3月31日現在)

付-1 組織と業務

(令和7年4月1日現在)



付-2 職員名簿

(令和7年4月1日現在)

所 長 雨 宮 俊 彦	電子・システム技術部	デザイン技術部
管理・連携推進センター	部 長 河 野 裕	部 長 宮 川 理 恵
センター長(兼1)	[電子応用科]	主任研究員 串 田 賢 一
研究管理幹(兼2)	主任研究員 木 島 一 広	主任研究員 鈴 木 文 晃
研究管理幹(富)	研 究 員 中 村 卓	研 究 員 佐 藤 博 紀
研究管理幹	研 究 員 富 永 裕 輝	会計年度任用職員 数 野 真 裕 美
	技 師 小 西 啓 史	会計年度任用職員 岡 治 美
	会計年度任用職員 和 光 順 子	
総務課		ワイン技術部
課長(事務取扱)	[システム開発科]	部 長 木 村 英 生
副 主 査 權 正 裕 之	主任研究員 宮 本 博 永	
主 任(兼2)	専 門 員 萩 原 坂 茂 響	主任研究員 小 松 正 和
主 事(富)	研 究 員 保 坂 拓 也	研 究 員 佐 藤 憲 亮
主 事 田 中 智 唯	技 師 浅 川 拓 也	会計年度任用職員 三 科 浩 仁
会計年度任用職員 飯 田 恵 子	技 師 中 込 亮	会計年度任用職員 窪 田 守
会計年度任用職員 中 村 澄 香		
会計年度任用職員(富) 大 月 恵 美		
企画連携推進部	材料・燃料電池技術部	富士技術支援センター
部 長 萩 原 義 人	主幹研究員・部長 恩 田 匠	センター長 宮 川 和 幸
		副センター長 井 出 博 幸
		研究管理幹(兼1) 渡 辺 誠
[総合相談・連携推進科]	[工業材料科]	繊維技術部
主任研究員 長 沼 孝 多	主幹研究員 阿 部 治	主幹研究員・部長 五十嵐 哲 也
主任研究員(兼1) 尾 形 正 岐	主任研究員 石 田 正 文	
主任研究員(富) 古 屋 雅 章	主任研究員 鈴 木 大 介	[製品開発科]
	主任研究員 深 澤 郷 平	主幹研究員 望 月 威 夫
		主任研究員 三 井 由 香 里
[企画・情報科]	[化学・燃料電池科]	主任研究員(兼1) 古 屋 雅 章
主任研究員 清 水 章 良	主任研究員 三 神 武 文	専 門 員 金 丸 勝 彦
主任研究員 布 施 嘉 裕	主任研究員 上 垣 良 信	主 事(兼1) 渡 邊 大 河
主任研究員 尾 形 正 岐	主任研究員 芦 澤 里 樹	会計年度任用職員 渡 邊 直 子
主任研究員(富) 古 屋 雅 章	研 究 員 宮 澤 航 平	会計年度任用職員(兼1) 大 月 恵 美
会計年度任用職員 金 丸 美 穂		
甲府技術支援センター	機械技術部	[技術支援科]
センター長 渡 辺 正 尚	部 長 西 村 通 喜	主任研究員 秋 本 梨 恵
副センター長 八 代 浩 二		専 門 員 吉 村 千 秋
	主幹研究員 早 川 亮	会計年度任用職員 勝 俣 久 美
	主任研究員 米 山 陽	会計年度任用職員 高 山 美 和
食品酒類・研磨宝飾技術部	専 門 員 岩 間 貴 司	
部 長 宮 川 和 博	専 門 員 河 西 伸 一	機械電子技術部
	研 究 員 坂 本 智 明	主幹研究員・部長 石 黒 輝 雄
	研 究 員 長 田 和 真 敦	
	研 究 員 雨 宮 敦	[機械電子科]
[食品酒類・バイオ科]		主幹研究員 勝 又 信 行
主任研究員 尾 形 美 貴		研 究 員 渡 邊 慧 輔
主任研究員 橋 本 卓 也		技 師 小 宮 山 裕 仁
主任研究員 樋 口 か よ		
技 師 中 山 鋭 士		
		[素材科]
[研磨・宝飾科]		主任研究員 寺 澤 章 裕
主任研究員 小 松 利 安		主任研究員 望 月 陽 介
専 門 員 佐 野 照 雄		指 導 主 幹 高 尾 清 利
研 究 員 林 善 永 裕		
研 究 員 佐 藤 貴 裕		
会計年度任用職員 相 原 優 子		
会計年度任用職員 鶴 田 裕 太		

(兼1)：所内兼務 (富)：富士技術支援センター

(兼2)：総合理工学研究機構と兼務

付-3 職員配置

(令和7年4月1日現在)

	行政職									研究職													会計 年度任用職員	合計
	所 長	セン ター 長	副 セン ター 長	課 長	主 査	副 主 査	専 門 員	主 任	主 事	セン ター 長	副 セン ター 長	研 究 管 理 幹	特 別 職 非 常 勤	主 幹 研 究 員・ 部長	部 長	主 幹 研 究 員	指 導 主 幹	主 任 研 究 員	専 門 員	研 究 員	技 師			
山梨県産業技術センター	1																						1	
管理・連携推進センター		(1) ¹										2(1) ²											2 (2)	
総務課				(1) ¹		1		(1) ²	2													3	6 (2)	
企画連携推進部															1								1	
総合相談・連携推進科																		1(2) ¹					1 (2)	
企画・情報科																		4				1	5	
甲府技術支援センター		1									1												2	
食品酒類・研磨宝飾技術部															1								1	
食品酒類・バイオ科																		3			1		4	
研磨・宝飾科																		1	1	2		2	6	
電子・システム技術部															1								1	
電子応用科																		1		2	1	1	5	
システム開発科																		1	1	1	2		5	
材料・燃料電池技術部														1									1	
工業材料科																1		3					4	
化学・燃料電池科																		3		1			4	
機械技術部															1	1		1	2	3			8	
デザイン技術部															1			2		1		2	6	
ワイン技術部															1			1		1		2	5	
富士技術支援センター			1							1	(1) ¹												2 (1)	
繊維技術部														1									1	
製品開発科									(1) ¹							1		1(1) ¹	1			1(1) ¹	4 (3)	
技術支援科																		1	1			2	4	
機械電子技術部														1									1	
機械電子科																1				1	1		3	
素材科																	1	2					3	
合計	1	1 (1) ¹	1 (1) ¹	0 (1) ¹	0	1	0	0 (1) ²	2 (1) ¹	1	1	2 (1) ¹ (1) ²	0	3	6	4	1	25 (3) ¹	6	12	5	14 (1) ¹	86 (10)	

(括弧)¹ : 所内兼務

(括弧)² : 総合理工学研究機構と兼職

付-4 令和7年度予算

主な事業経費

区分（人件費を除く）	予算額（千円）	備考
所運営費（主な経費） ・運営会議（委員謝金、旅費、その他） ・依頼試験関連経費（消耗品費、修繕費） ・外部評価会議（委員謝金、旅費）	224,481	所の運営に要する経費
研究指導費（主な経費） ・研究事業関連経費 （備品、消耗品、委託費、原材料費、旅費、負担金） ・講習会等の開催に係る経費（講師謝金、旅費等） ・技術情報構築支援事業 ・利用促進事業	110,425	経常研究費 技術相談、中小企業課題対応受託研究、企業訪問（技術支援） 情報提供等に要する経費
成長戦略研究費	16,676	成長戦略研究に係る研究費
総合理工学研究機構費	4,261	総合理工学研究機構に係る研究費
ワイン技術指導費（主な経費） ・ワイン製造に係る経費	10,152	ワイン技術部の運営等に要する経費
デザイン技術指導費（主な経費） ・デザイン情報調査提供事業	1,241	中小企業のデザイン開発力向上のためのデザイン情報の収集・提供等の事業に要する経費
職員職務発明特許出願費	1,289	職員の職務発明等に関する特許出願、県有特許権の管理を行う経費
高度研究開発促進事業費	5,539	県内産業の高度化を図ると同時に産業技術センターの研究開発を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材による指導を行うための経費
基盤的技術産業集積活性化推進事業費（主な経費） ・イノベーション支援棟（甲府）管理費 ・ものづくり人材育成研修事業 ・富士技術支援センターイノベーション支援棟整備事業費	127,808	医療機器をはじめとする機械電子産業や地場産業などの製品開発支援機能を強化することで、中小企業を後押しして高付加価値化を図り、受注拡大に繋げるための経費

2025

令和6年度年報

発行日 令和7年7月30日

発行 山梨県産業技術センター

〒400-0055
山梨県甲府市大津町2094
Tel 055-243-6111
Fax 055-243-6110

印刷 (株)少國民社

〒400-0851
山梨県甲府市住吉1-13-1
Tel 055-226-2125
Fax 055-231-2100